

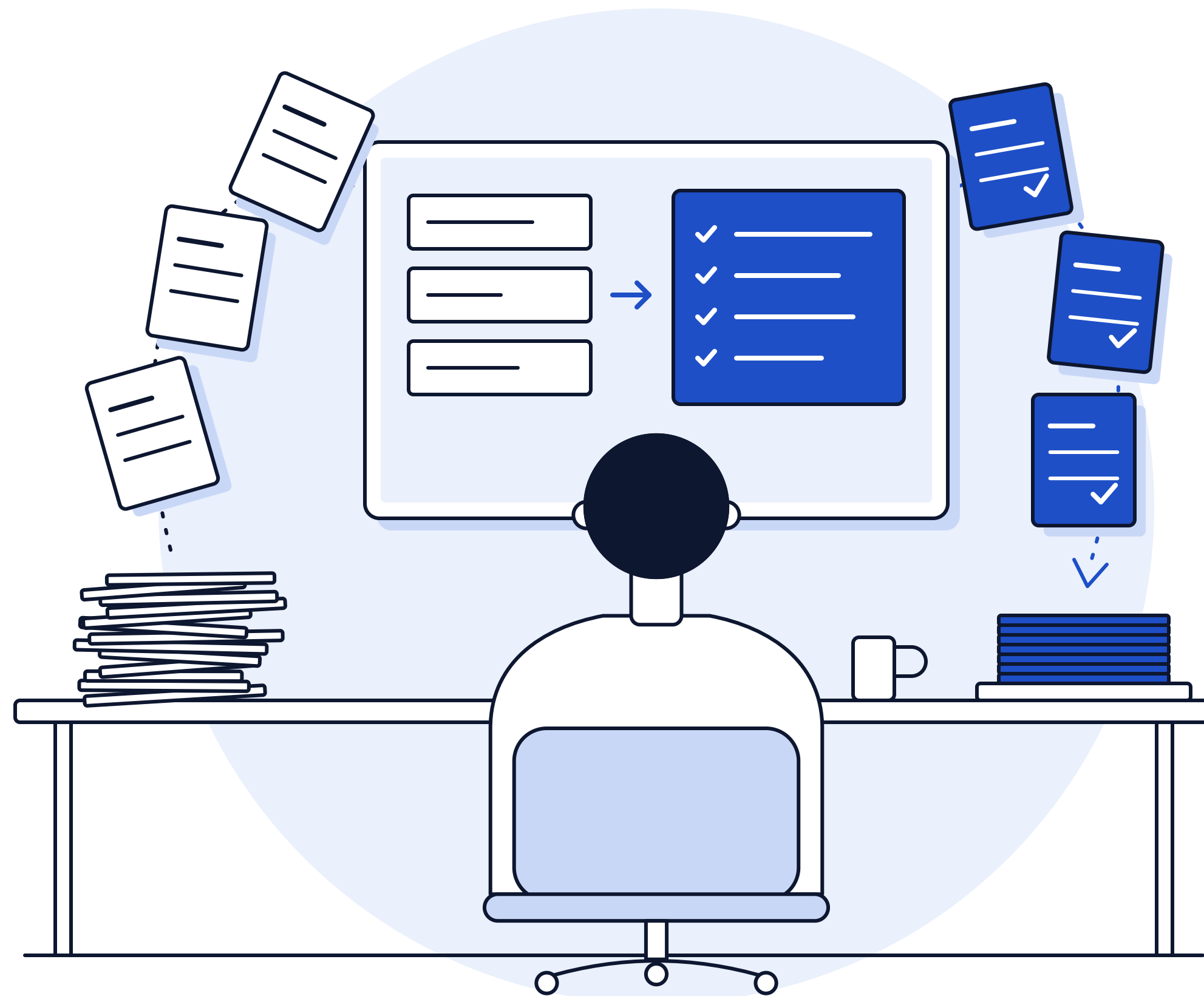


COMPANY PROFILE

BoostX 会社案内

日本の会社に、AIを実装する。

株式会社BoostX



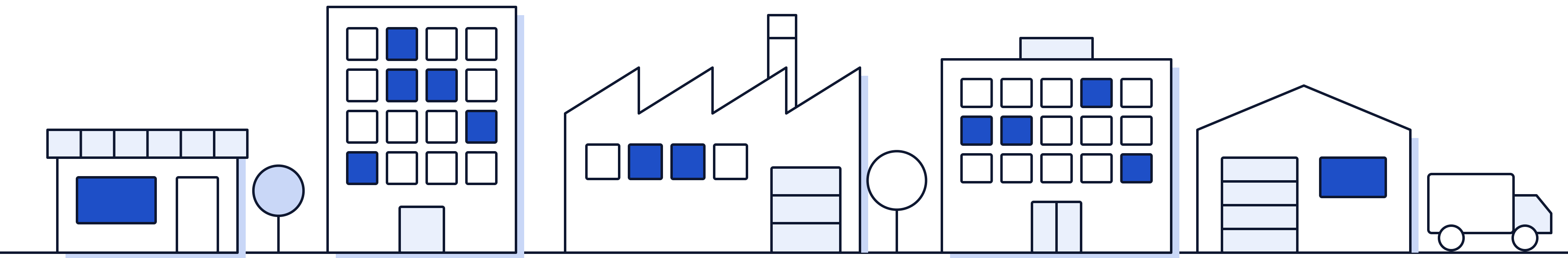
日本の会社に、 AIを実装する。

■ 青い窓=AIが入った業務

業務と意思決定を、
AIで再設計する。

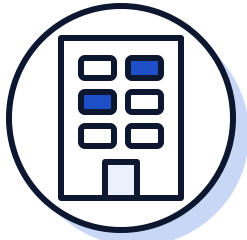
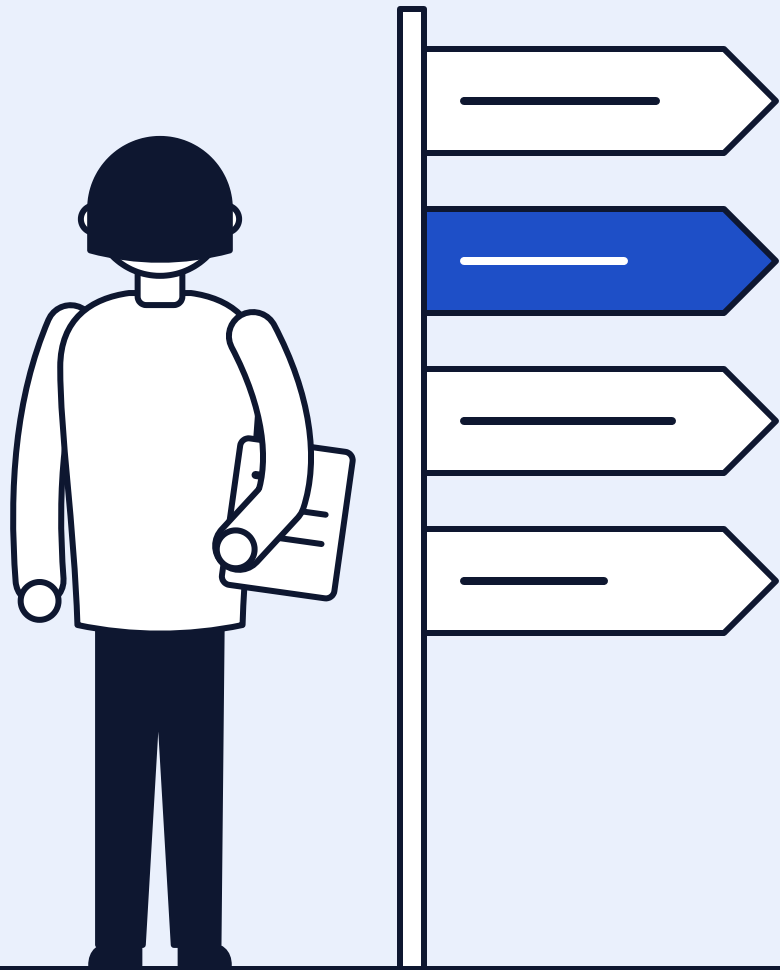
納品で終わらせない。
KPIが動くまで、離れない。

提案書ではなく、
現場で動く実物を。



CONTENTS

目次

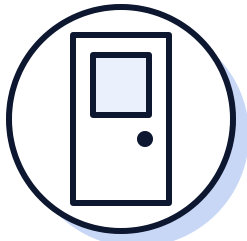


01

OUR APPROACH

私たちの考え方

04



02

SERVICE

7つのサービスと選び方

11



03

HOW WE WORK

無料相談からの流れ・進め方・安全

35



04

COMPANY

代表メッセージ・会社概要

40

別添 料金と支援の形／ご契約の前に

44

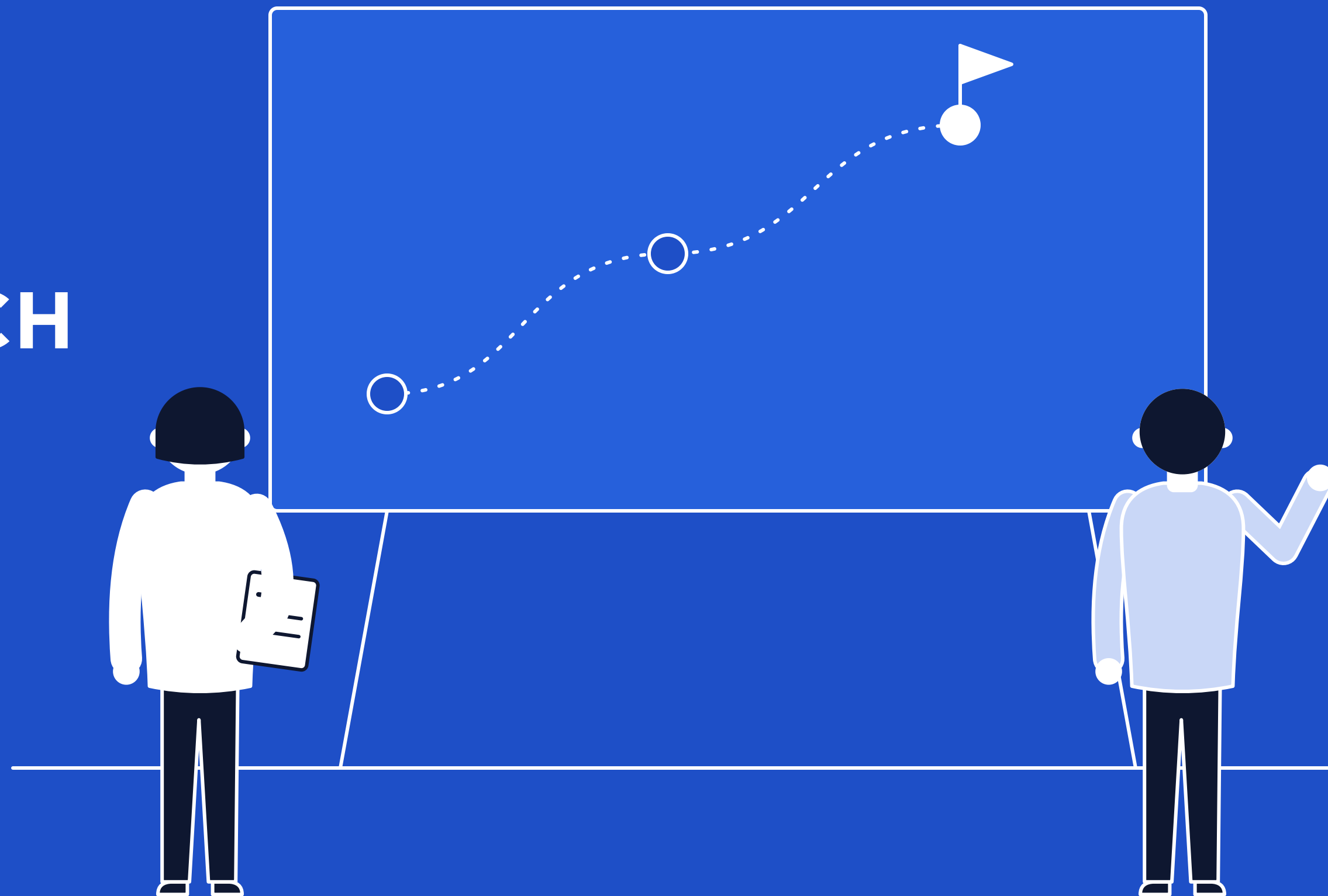
01

OUR APPROACH

私たちの考え方

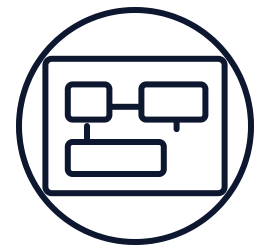
効く業務の見極めから、構築、
現場への定着まで。

BoostXが責任を持ちます。



AIツールを入れても止まる理由は、4つあります。 BoostXは、始める前にその4つを決めます

止まる理由



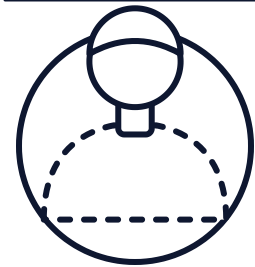
業務の手順を変えていない



現場の声を聞いていない

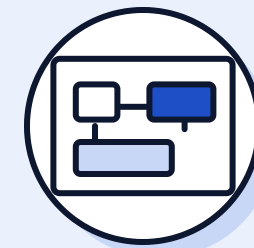


効果を測る仕組みがない



見る人が決まっていない

BoostXが先に決めること



手順を書き換える

どの工程をAIに渡し、どこを人が確かめるか



使う人と一緒に決める



始める前に、何で測るかを決める



誰が見て、直し続けるかを決める

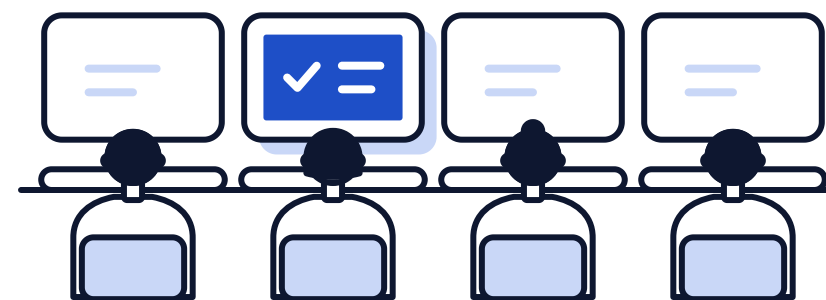
道具を配るだけでは、使われ続きません。 業務を1つ決めて、手順と見る人まで先に決めます

例：見積書の作成（一般的な例です）

よくある
入れ方



AIツールを全員に配る



使う人だけが使う



効果が分からない

BoostXの
入れ方



「見積作成」を対象に決める

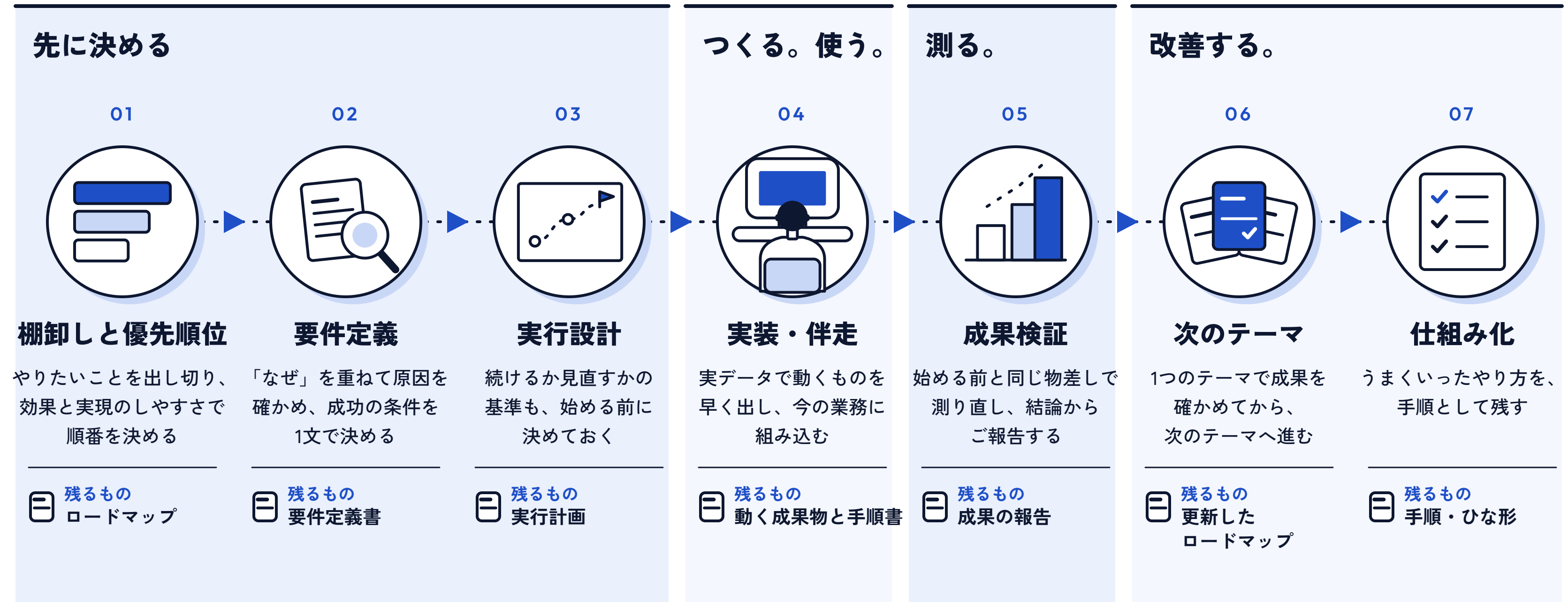


AIが過去の見積と仕様から下書きし、
人が金額と条件を確認する



担当の責任者が毎月、
かかった時間と直しの数を見る

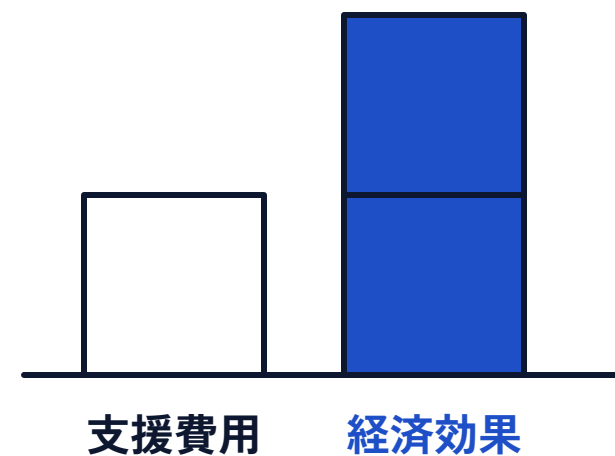
AIを作るだけでは、成果とは考えません。 先に決めて、つくって使い、測ってから次へ進みます



成果は、6つの軸のどれが動いたかで測ります。 まず、費用の2倍程度の効果を狙える業務を候補にします

候補にする業務の目安

2倍



年間の支援費用に対して、まず2倍程度の
経済効果を狙える業務を候補にします。

対象の業務を選ぶときの目安で、成果をお約束する
ものではありません。



成果は、始める前と同じ物差しで測り、記録に残します

指標ごとの記録

成功の条件	1文で決める
指標	何で測るか
導入前の値	実測／推定を明記
目標・期限	始める前に決める
実測値	同じ物差しで測る
測り方・期間	必ず書く
どの施策によるものか	ひも付ける

訂正は上書きせず、履歴を残します



着手前に、成功の条件を1文で決める

指標・導入前の値・目標・期限を書き出します。



事実と推測を分けて書く

導入前の値は実測が基本。取れないときは推定し、「推定」と明記します。
分からない数値は「不明」と書きます。



定期的に報告し、節目ごとに承認をいただく

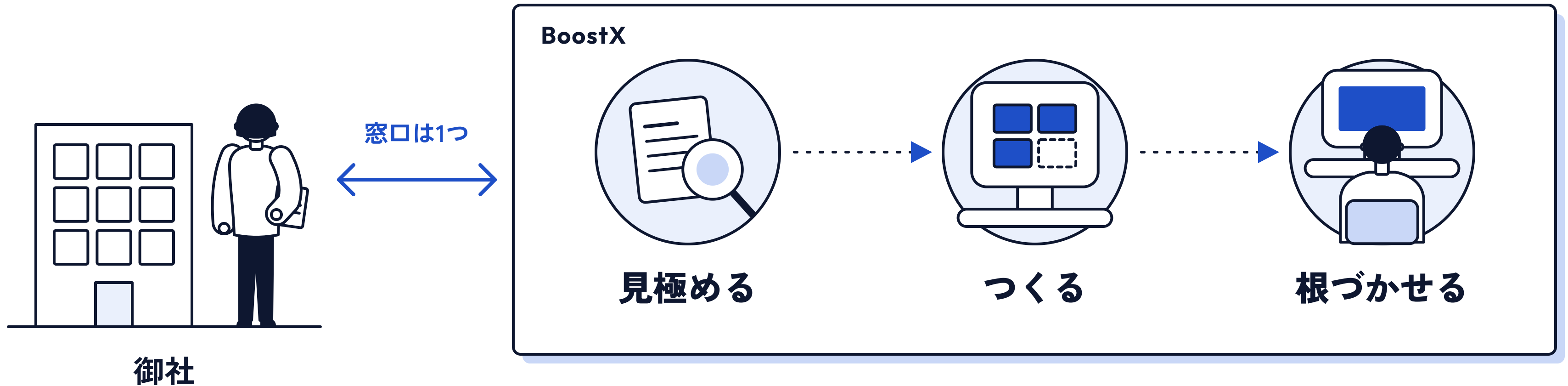
進捗・課題・決定・変更をご報告し、成果物は承認を経てお渡しします。



届かないときは、順番に見直す

使われているか → 原因の見立ては合っていたか → 測り方。
うまくいかなかったことも、記録に残します。

**効く業務の見極めから、構築、現場への定着まで。
BoostXが責任を持ちます。窓口は1つです**



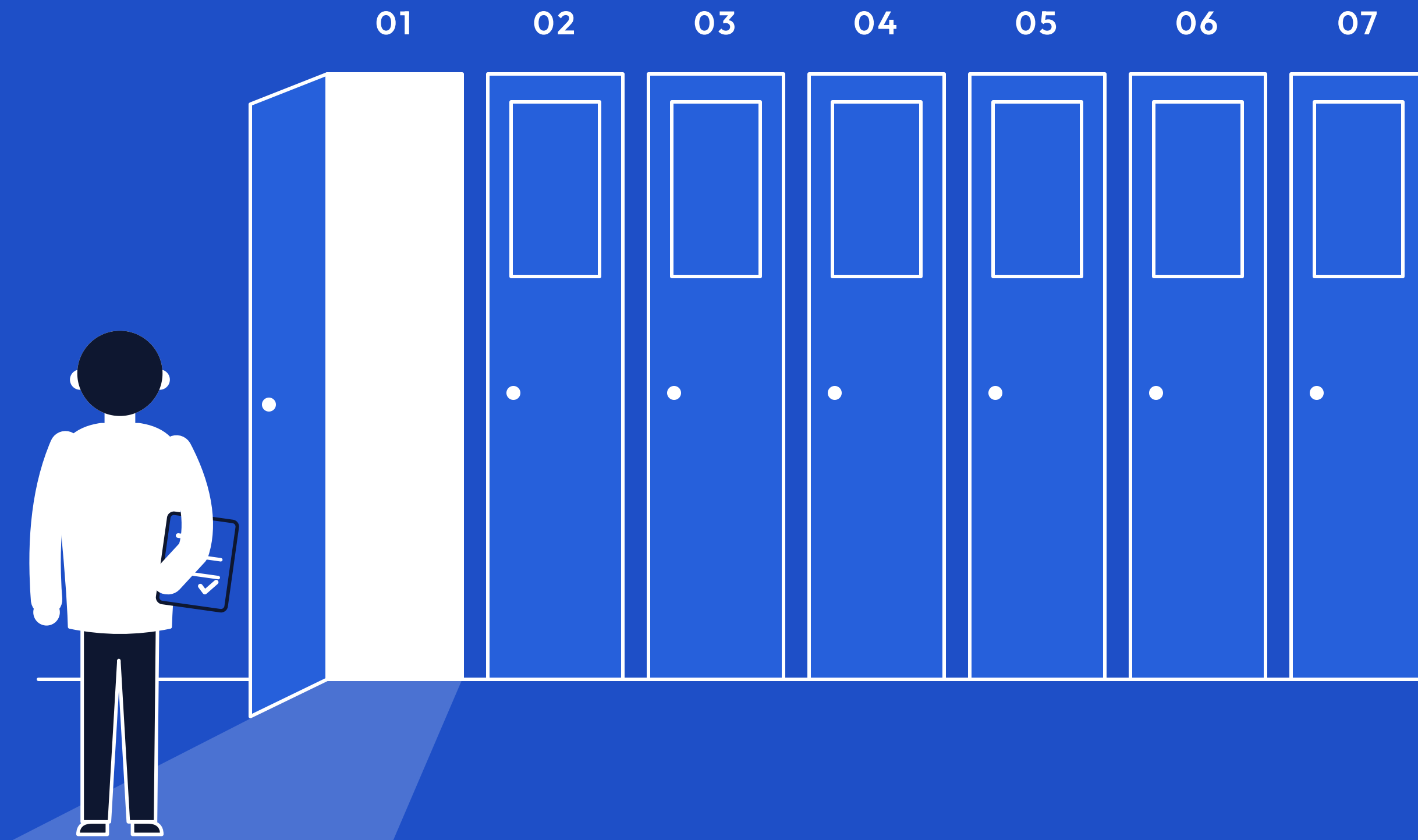
**AIを売るのではなく、御社の業務が動くようにすることが、
私たちの仕事です。**

02

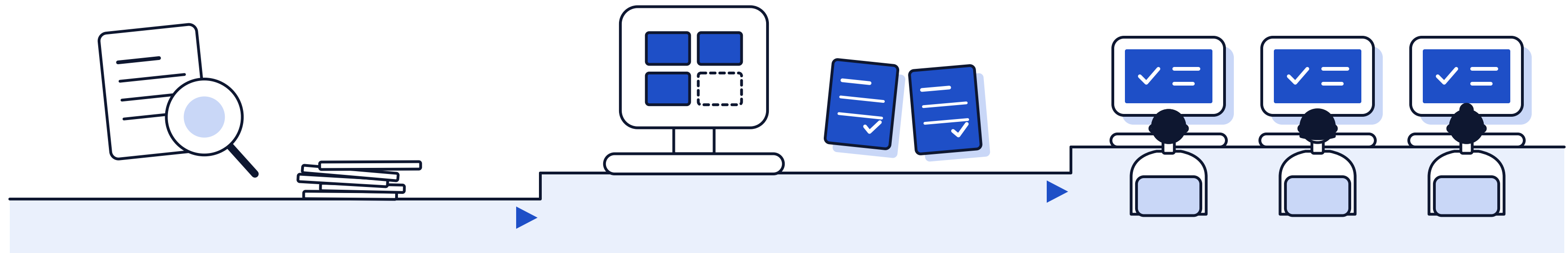
SERVICE

7つのサービス

AIを導入するだけで、
終わらせない。
業務が変わり、
成果が出るところまで。



見極める・つくる・根づかせる。 3つの段に、7つのサービスがあります



01 DIAGNOSE

見極める

どの業務に、どの順番で、
いくら投資するかを決める

03 AIコンサルティング

01 AI顧問 Light

02 BUILD

つくる

判断基準と例外をAIに持たせ、
確かめてから本番へ

01 AI顧問 Standard・Growth

04 Claude Code構築支援

05 AIエージェント開発

06 AI開発セキュリティ顧問

03 SCALE

根づかせる

自分の業務で使い、
部署を広げて定着させる

07 生成AI研修

02 FDE型AI伴走支援

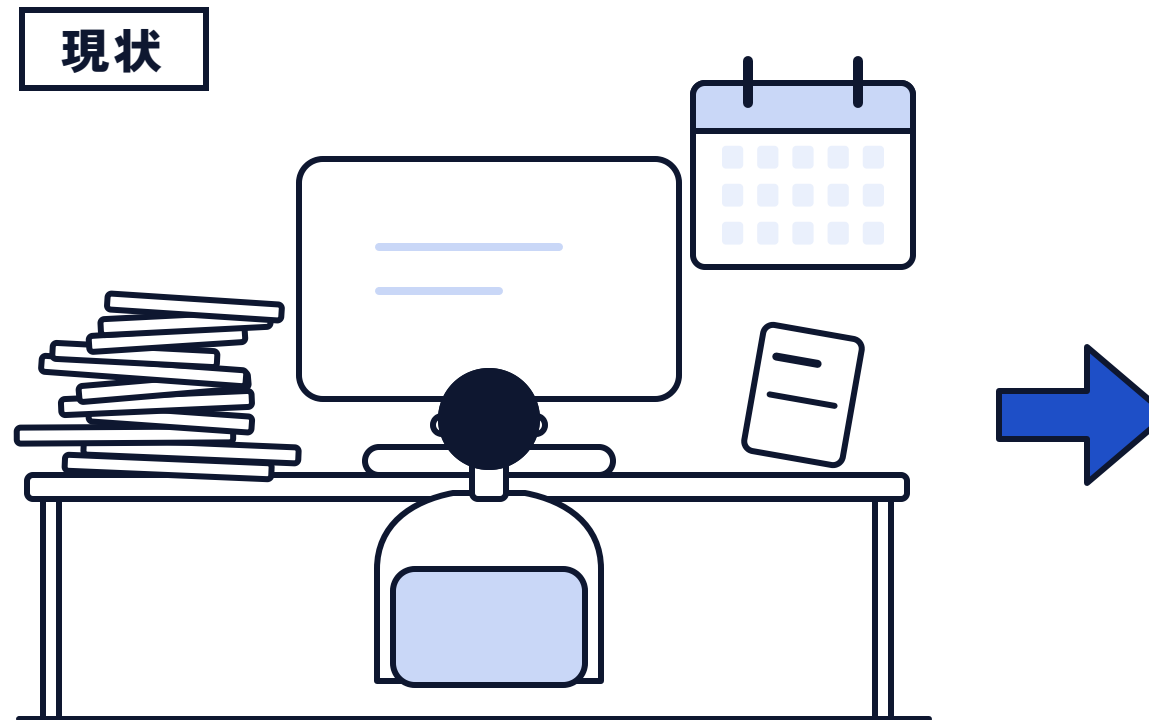
AI顧問

「毎月1個AIを作る」ではなく、
「毎月1業務を改善する」契約です。

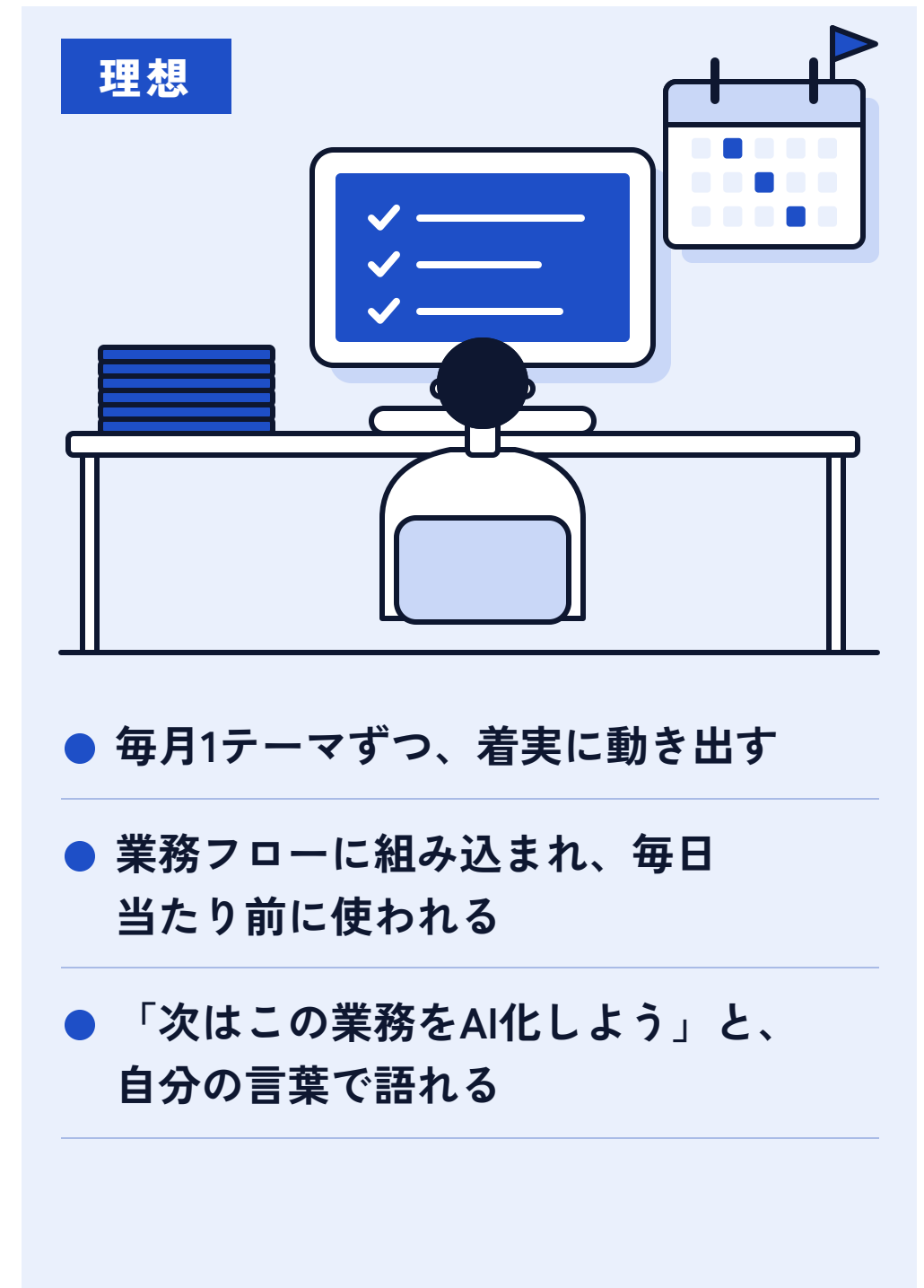
1サイクル（月1テーマ・約2～4週間）

課題選定 → 設計 → 構築 → 現場導入 → 利用
→ 修正 → 効果測定

毎月1つの業務を選び、 課題選定から効果測定まで1サイクル回す



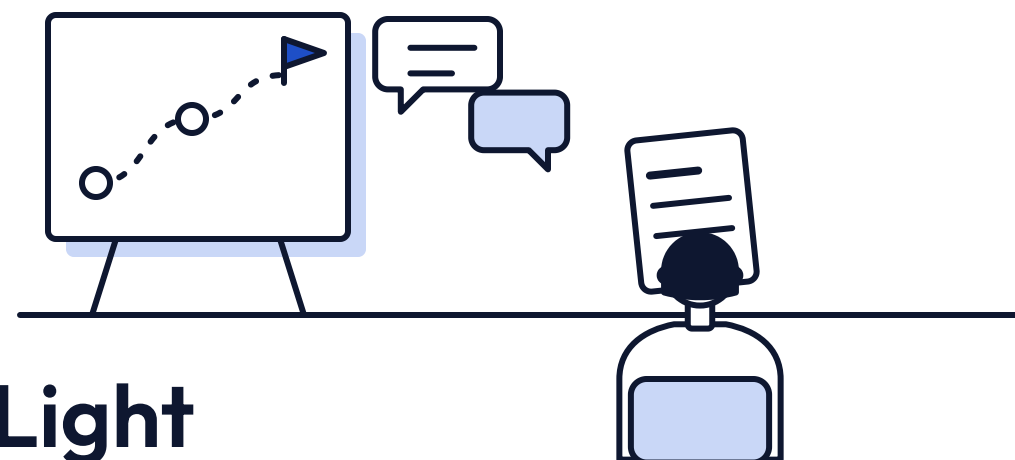
- AIを何にどう使うか、方向性が決まらない
- 同じ手作業のくり返しに、人の時間が奪われている
- 試したツールが、使われずに止まった



今月、実際に何を進めたいかで3つのプランから選ぶ

料金は税込

- 月額制・オンラインで完結
- 基幹システム連携など規模の大きい開発は別のお見積もり
- AIツールの利用料は含みません

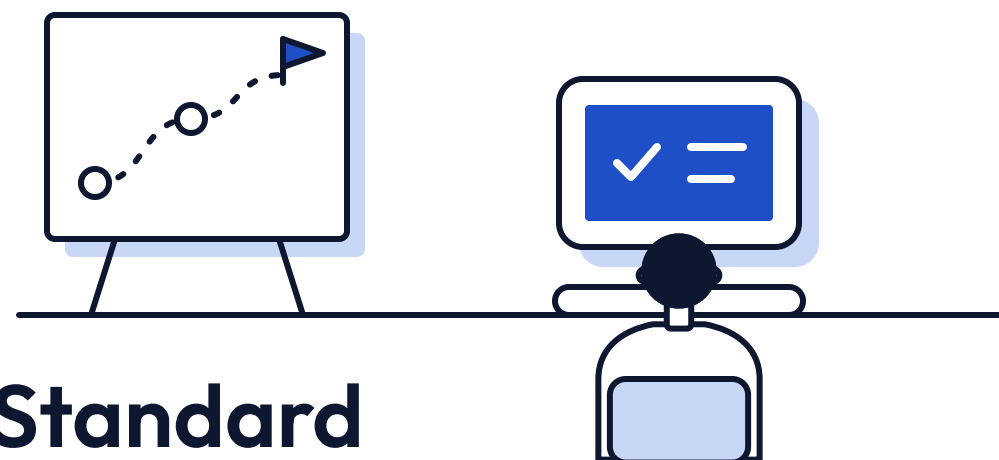


Light

判断・設計

11万円／月

- AI活用の相談と課題整理
- 優先順位とロードマップ
- ツール選定・効果確認

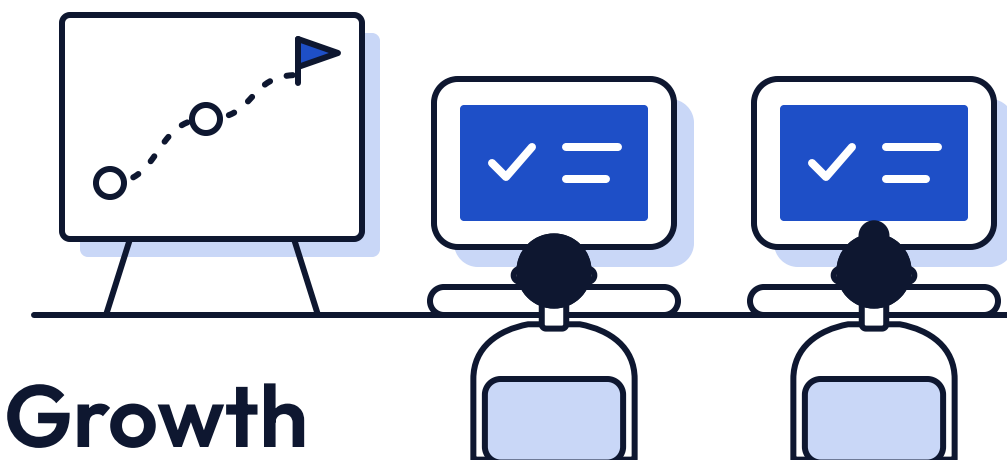


Standard

毎月1業務をAI化

22万円／月

- Light の内容すべて
- 毎月1件の小規模AI構築
- 現場導入・修正・定着支援
- 構築前後の変化を確認



Growth

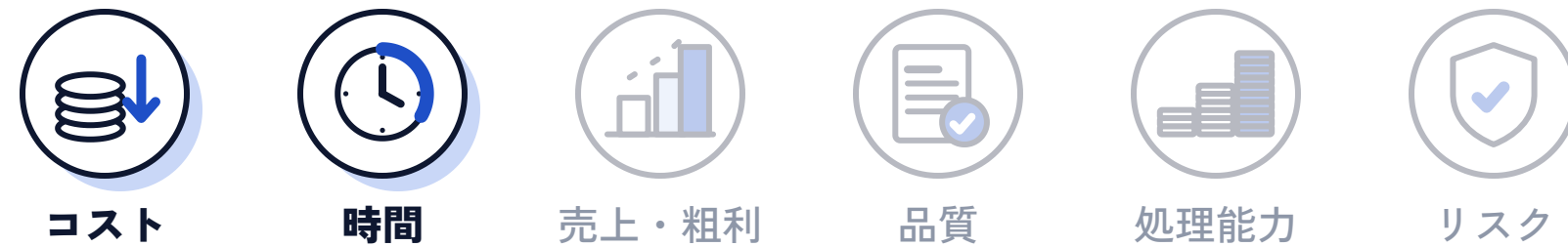
毎月2業務をAI化

33万円／月

- Standard の内容すべて
- 毎月2件の小規模AI構築
- 運用ルール・社内マニュアルの整備
- 複数部署への展開支援

毎月変えていく業務の、時間とコストで効果を測ります

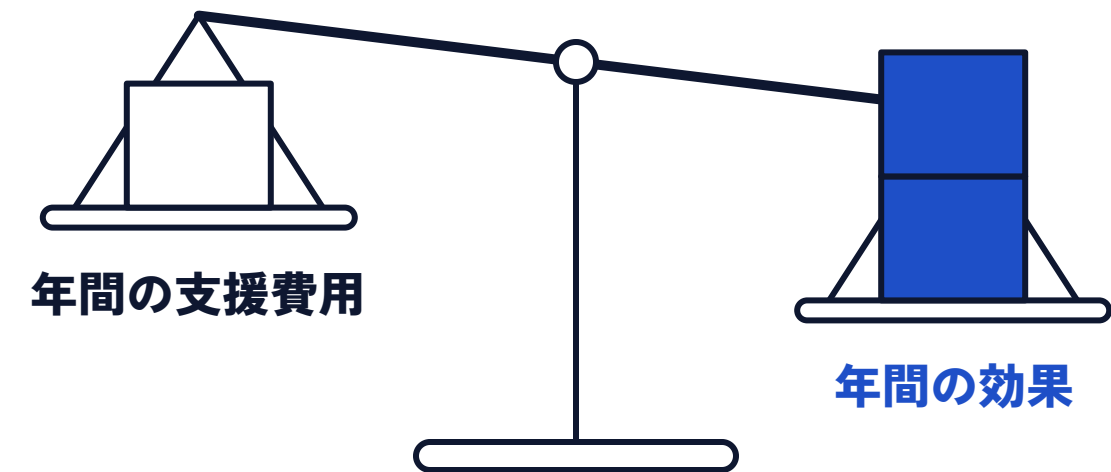
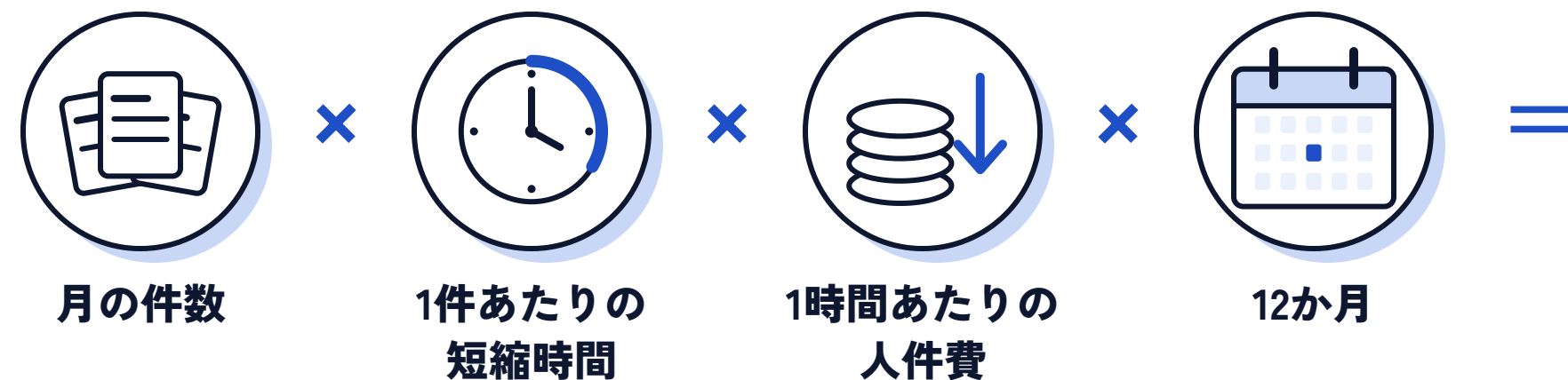
主に見る軸



年間の支援費用に対して、まず2倍程度の経済効果を狙える業務を候補にします。

- ・ 始める前に、今の値を測る
- ・ 推定は「推定」と書く
- ・ 同じ物差しで測り直す

効果の出し方



計算例（数字は仮のもので、実績ではありません）

前提：1つの業務で月200件・1件15分の短縮・1時間あたりの人件費3,000円（仮の値）

200件 × 15分（月50時間） × 3,000円 × 12か月 = 年180万円（1つの業務）

同じ規模の業務が3つ動くと年540万円。Standard の年間費用264万円（月額22万円×12か月）の約2倍を見込む計算です。

FDE型 AI伴走支援

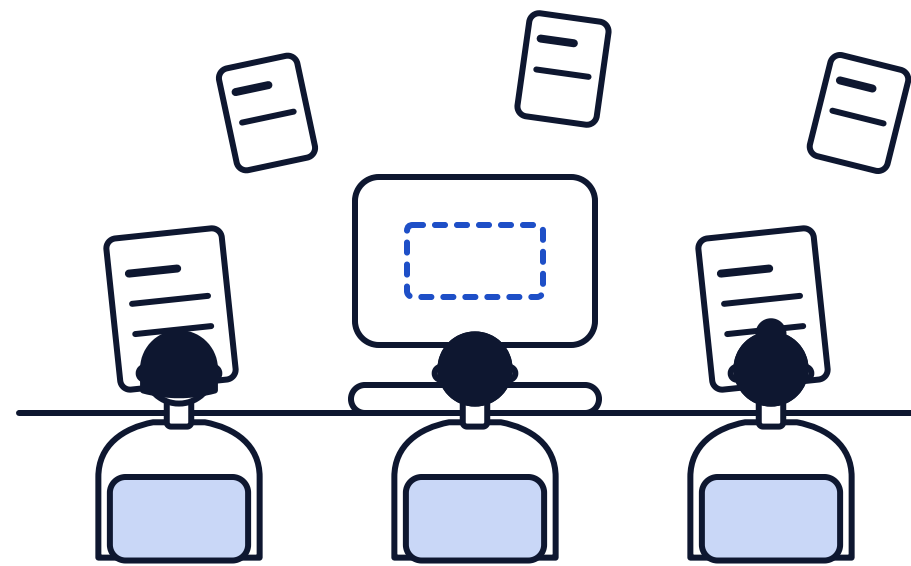
複数部署のAIプロジェクトを、
BoostXも当事者として進めます。

7つの段

立ち上げと業務ヒアリング → ロードマップと
KPIの合意 → PoC → 構築 → 現場導入と
社員ヒアリング → 効果測定と定着 → 複数部
署への展開

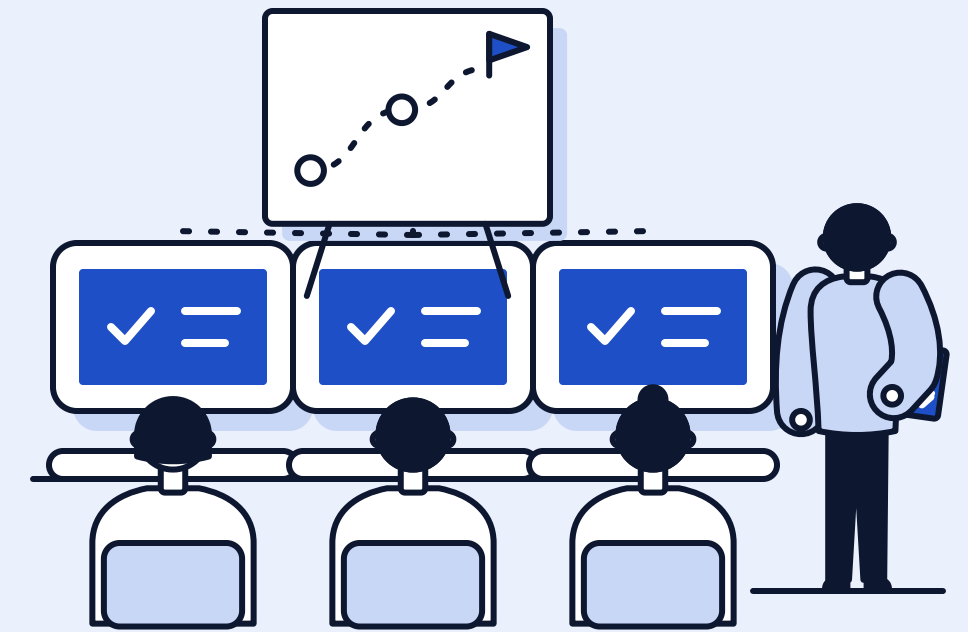
業務ヒアリングから複数部署への展開まで、 7つの段で進める

現状



- 複数部署で、どこから・どの順番で進めるかが決まらない
- 推進担当が兼務で、PoCの先に進まない
- 作ったAIが現場で使われず、効果も測れない

理想



- 複数部署のAI活用が、同時並行で前に進む
- 推進役を新たに専任で置かなくても回る
- PoCで止まっていたテーマが、本番運用と定着まで届く

FDE型 AI伴走支援

月の動きと料金

支援の形

- 月額制・月2日の訪問を含む
- 部署数・訪問日数の追加はお見積もり
- 規模の大きい開発は
切り分けてお見積もり

月2日は現場で設計・構築・修正。
ほかの日は打ち合わせとチャットで進める



訪問日（月2日）

FDE（御社に入り込む実装担当）が、現場の業務を見ながら設計・構築・修正。関係部署との調整も行います。



訪問日以外

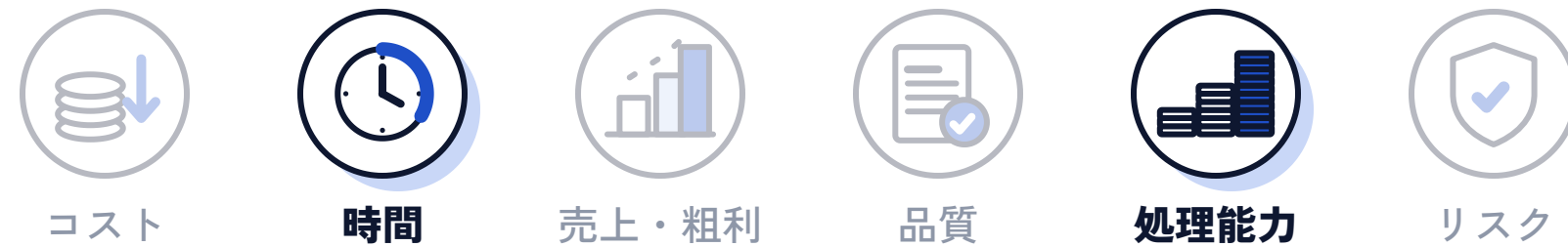
打ち合わせとチャットで進行。進行管理もBoostXが担います。

基本パッケージ

月額 **55** 万円（税込）

複数部署の時間と処理能力を合計して、効果を測ります

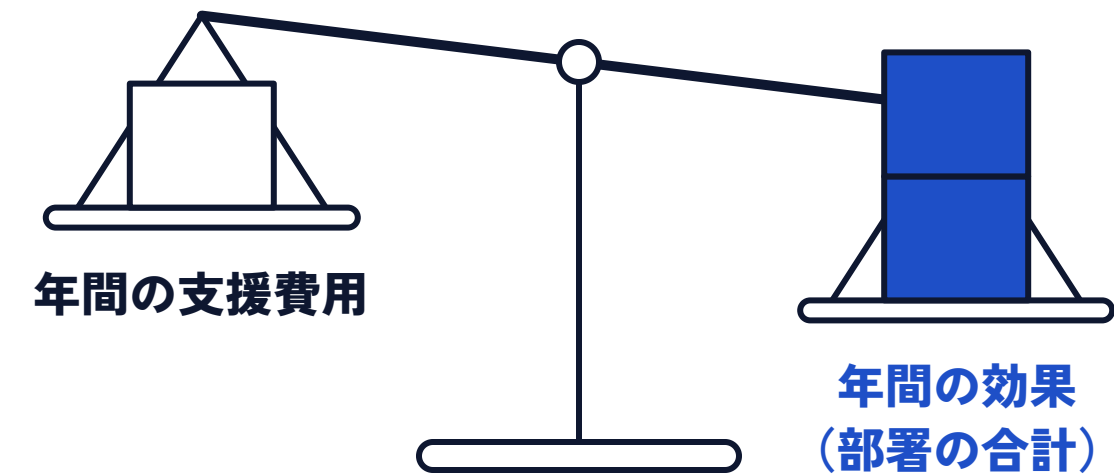
主に見る軸



年間の支援費用に対して、まず2倍程度の経済効果を狙える業務を候補にします。

- ・ 始める前に、今の値を測る
- ・ 推定は「推定」と書く
- ・ 同じ物差しで測り直す

効果の出し方



計算例（数字は仮のもので、実績ではありません）

前提：3部署・各部署で月120時間の短縮・1時間あたりの人件費3,000円（仮の値）

3部署 × 120時間 × 3,000円 × 12か月 = 年1,296万円

基本パッケージの年間費用660万円（月額55万円×12か月）の約2倍を見込む計算です。同じ人数で扱える件数の増え方も、あわせて測ります。

AIコンサルティング

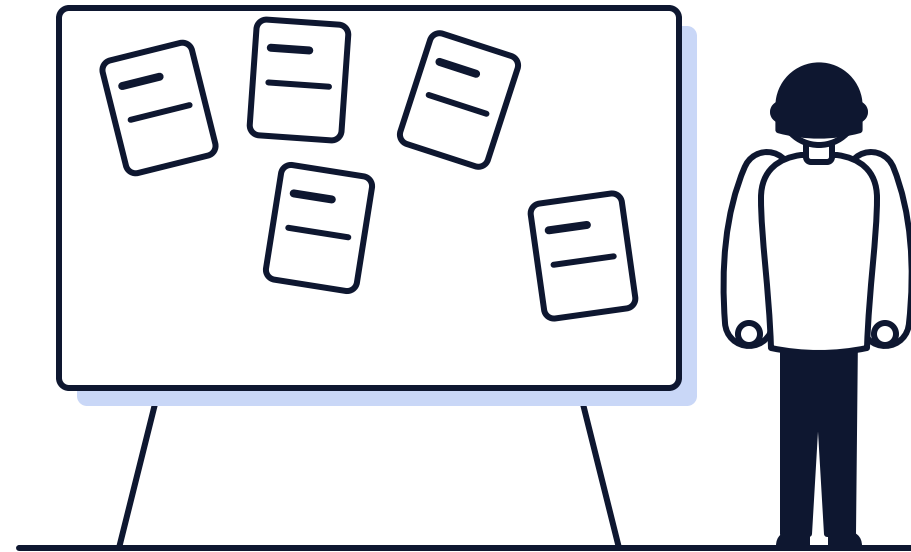
どの業務に、どの順番で、
いくら投資するかを決めます。

4つの段

現状をつかむ → 候補を選ぶ → 設計する →
実行を決める

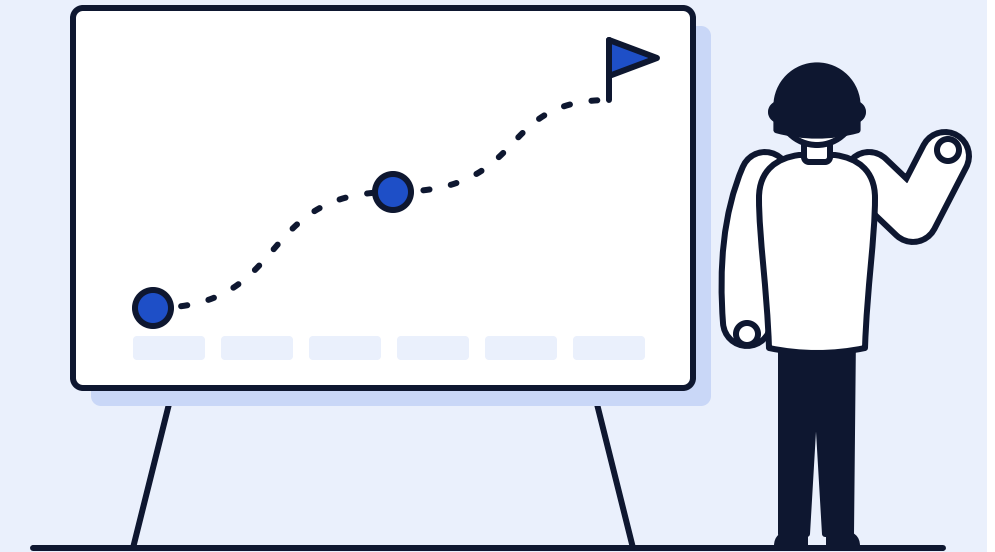
業務の見える化から、 12ヶ月のロードマップと予算までをつくる

現状



- 何から始めればいいのか分からない
- 全社のAI戦略と投資の順序を、これから決める
- 優先順位・予算・体制がまだ決まっていない

理想



- どの業務に、どの順番で、いくら投資するかが決まっている
- 経営課題から逆算したロードマップで、すぐ行動できる
- 実行体制と予算がそろっている

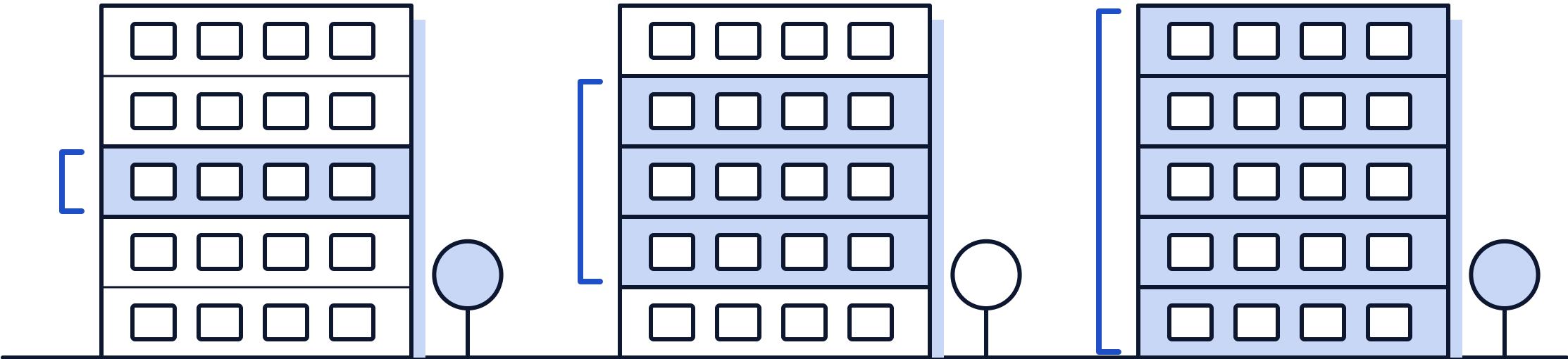
AIコンサルティング

パッケージと料金

支援の形

- プロジェクト単位のご契約
- 料金は規模により個別にお見積もり

対象の広さで、 3つのパッケージから選ぶ



1部署パッケージ

- 対象1部署の業務可視化
- AI活用候補の抽出と優先順位付け
- ROI試算とTo-Be業務設計
- 12ヶ月ロードマップと予算

複数部署パッケージ

- 経営課題の整理
- 部署をまたいだ優先順位と投資配分
- ガバナンスと実行体制の設計

全社パッケージ

- 全社規模の業務可視化
- データ設計・セキュリティ方針の全社整備
- フェーズごとの予算計画とKPI

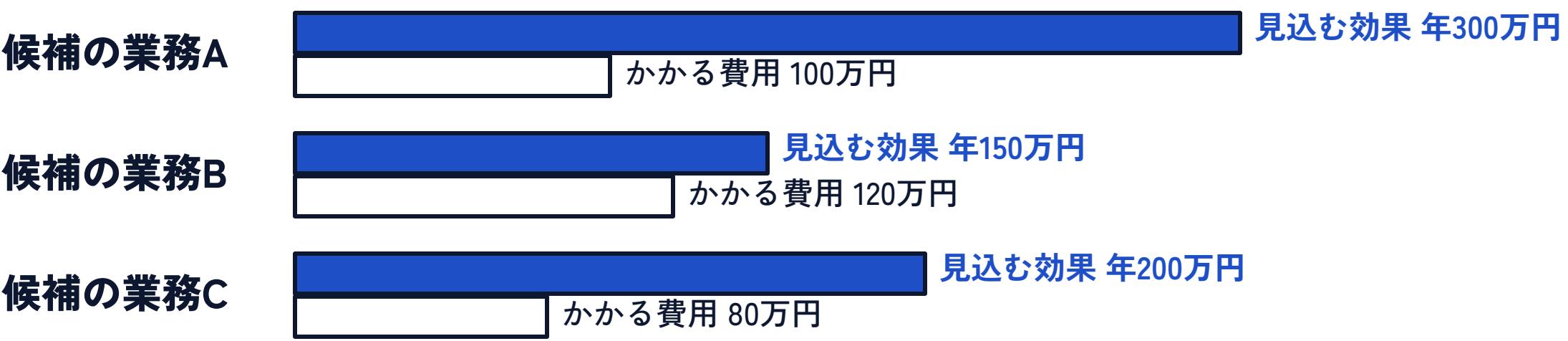
候補の業務ごとに効果と費用を並べ、投資の順番を決めます

主に見る軸（候補ごとに6つの軸で見ます）



効果の試算（ROI試算）を出すこと自体が、このサービスの成果物です。試算は12ヶ月のロードマップと予算に反映します。

効果の出し方



投資の順番



計算例（数字は仮のもので、実績ではありません）

前提：上の3つの候補の効果と費用は、説明のための仮の値です

効果 ÷ 費用： A $300 \div 100 = 3.0$ C $200 \div 80 = 2.5$ B $150 \div 120 = 1.25$ → A、C、B の順

AIコンサルティングの費用は、対象の広さを伺ったうえでの見積もり額です。

Claude Code 構築支援

誰が指示しても、同じ水準の
下書きへ。

環境に入れるもの

社内の書式／判断の基準／業務ごとの
作り込み／他のシステムと接続／配る前の
安全設計／手順書と引き継ぎ

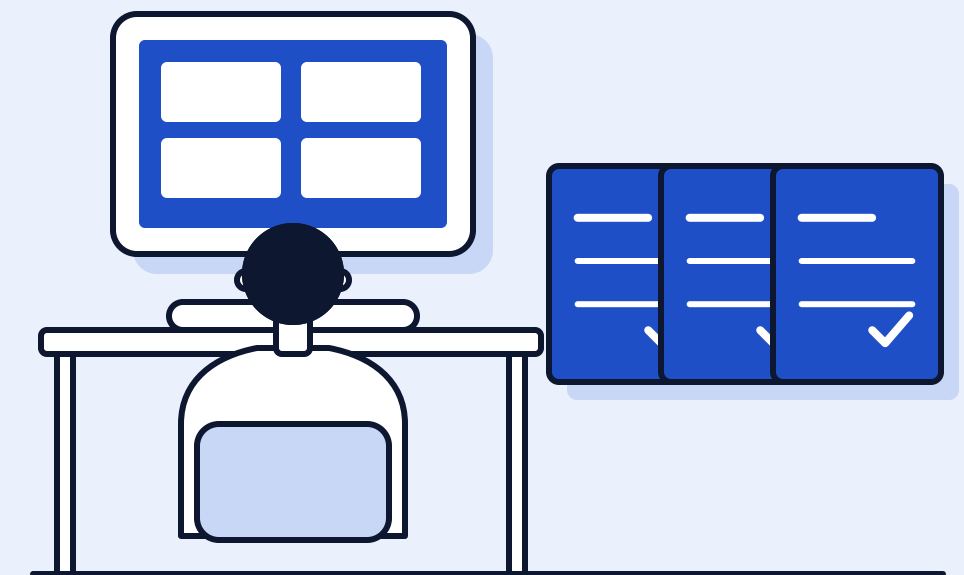
御社の書式と判断の基準を、 AIの作業環境そのものに入れる

現状



- 詳しい人が一人で使っているだけで、ほかの社員は触っていない
- 社内の書式も判断の基準も入っていない
- 担当者ごとに、構成と観点と書式が違う

理想

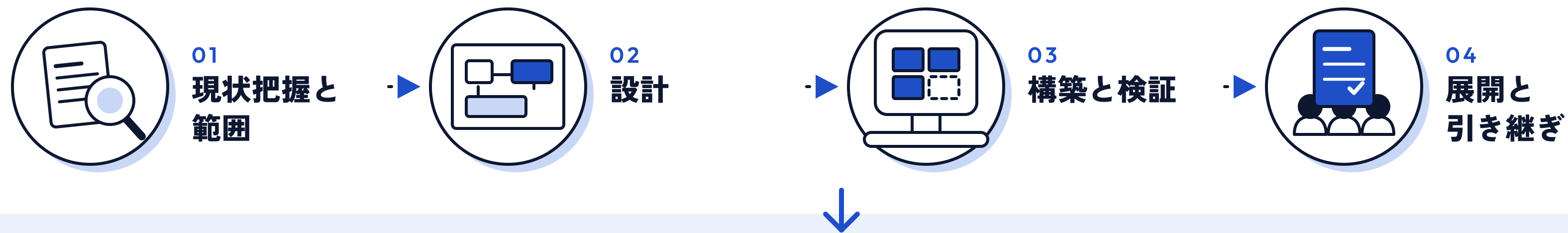


- その業務の担当者が、短い指示で使える
- 出てきたものを、そのまま確認に回せる
- 止めたい操作が設定で止まり、全社に配れる

範囲を先に決めて構築し、月額で顧問で使われ続ける状態を保つ

- 構築はプロジェクト単位。内容を伺って個別にお見積もり
- 構築後は月額の Claude Code顧問（任意）
- AIサービスの契約と利用料は含みません

構築（範囲は着手前に決めます）



構築のあと | Claude Code顧問（月額・税込）



Light
11 万円／月

月1回の定例と相談



Standard
22 万円／月

毎月1本まで、業務の追加・改修



Growth
33 万円／月

毎月2本まで、業務の追加・改修

くり返す作業の回数と時間で効果を出し、構築費用の回収を見ます

主に見る軸



コスト



時間



売上・粗利



品質



処理能力



リスク

くり返しの多い業務ほど、回収が早くなります。対象の業務と範囲は、着手前に決めます。

- ・ 始める前に、今の値を測る
- ・ 推定は「推定」と書く
- ・ 同じ物差しで測り直す

効果の出し方



月にくり返す
回数

×



1回あたりの
短縮時間

×



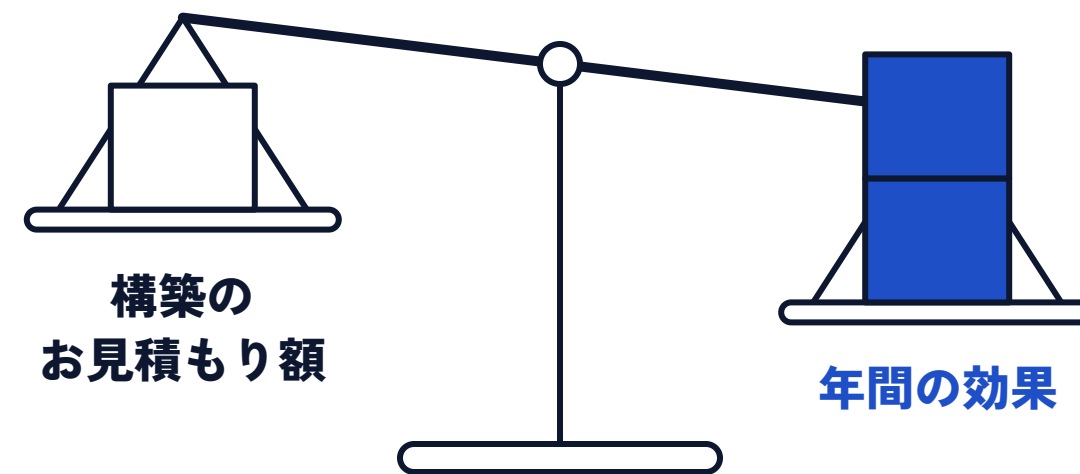
1時間あたりの
人件費

×



12か月

=



計算例（数字は仮のもので、実績ではありません）

前提：提案資料づくりが月40回・1回60分の短縮・1時間あたりの人件費3,000円（仮の値）

40回 × 60分 × 3,000円 = 月12万円 × 12か月 = 年144万円

構築のお見積もり額 ÷ 月12万円 = 回収にかかる月数。書式と観点がそろうことによる手直しの減り方も、あわせて見ます。

AIエージェント開発

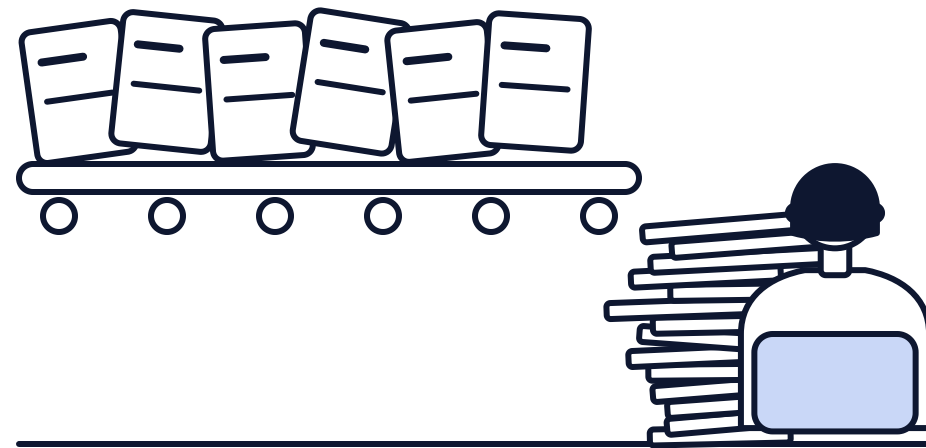
人が繰り返している業務を、AIが
処理する形に組み替えます。

対象になる業務

問い合わせ対応／営業追客／見積／査定／
受発注／採用／調査／資料生成／
大量データ処理

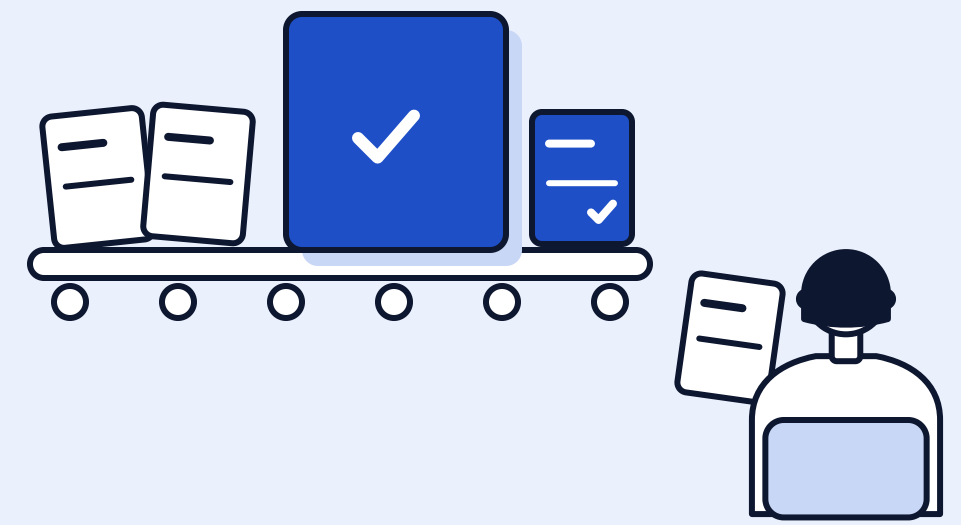
判断基準と例外をAIに持たせ、 人は例外対応と最終確認に集中する

現状



- 件数が増えると、人手を増やさざるを得ない
- 判断の基準が、ベテランの頭の中にある
- 担当者の時間が、入力・転記・定型返信で埋まる

理想



- 件数が増えても、人員を比例して増やさずに済む
- 誰が担当しても、同じ基準で一次処理される
- 担当者の時間が、例外対応と判断に戻る

AIエージェント開発

進め方と料金

支援の形

- プロジェクト単位のご契約
- 料金は規模により個別にお見積もり
- 小規模な実装は、AI顧問の毎月の構築で対応

PoCで成立を確かめてから、 本番、拡張へ進む



STAGE 1
PoC（検証）

- 業務の分解と判断基準の洗い出し
- 実際の業務データで検証
- 精度と処理時間の測定

STAGE 2
本番導入

- 本番運用に耐える開発
- 既存システムとの連携
- 処理記録と確認手順の整備
- 運用ルールと引き渡し

STAGE 3
拡張

- 処理範囲の拡大
- 関連業務への横展開
- 外部サービス・社内システムの追加連携
- 継続的な精度確認と改善

処理件数と1件の時間で効果を出し、PoCの実測で確かめます

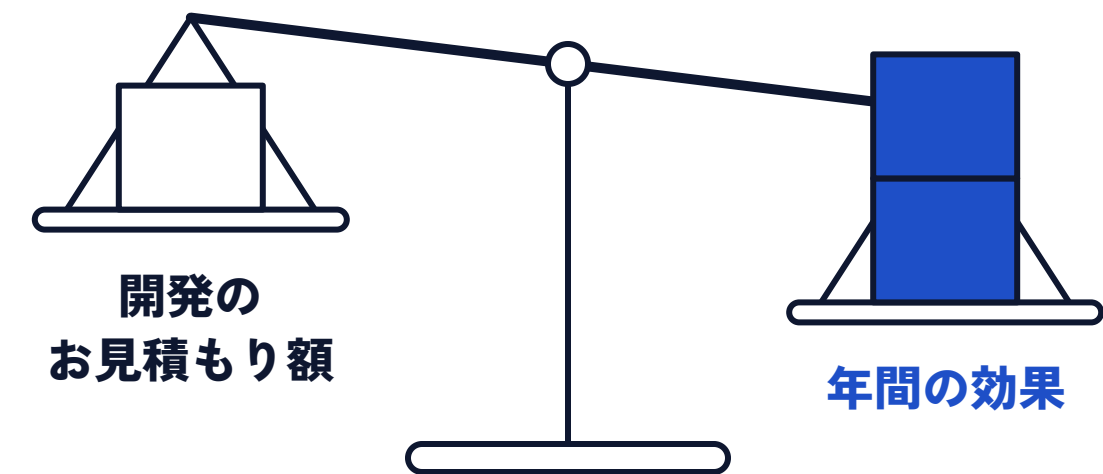
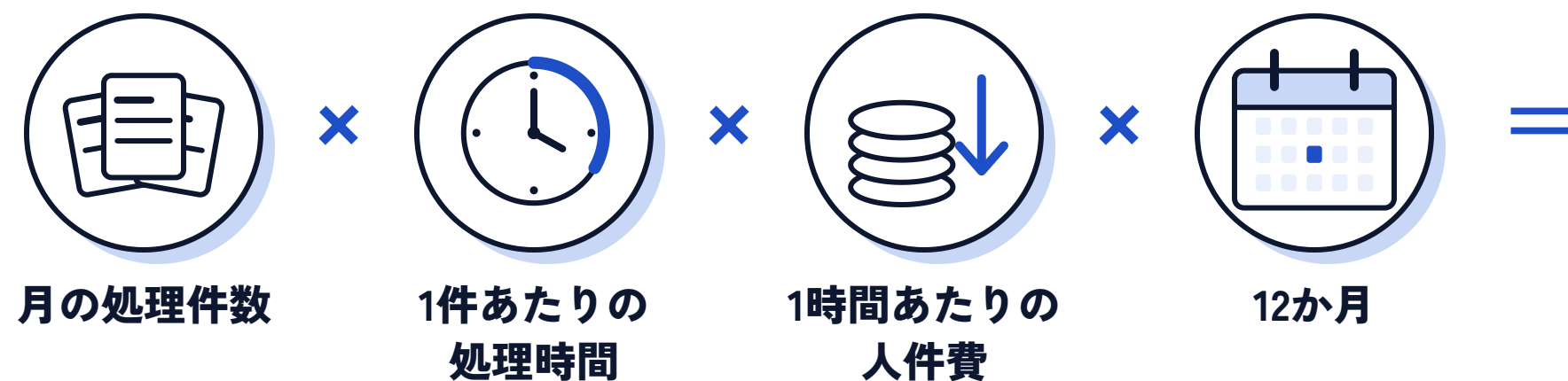
主に見る軸



件数が増えても、人員を比例して増やさずに済む状態を狙います。PoCで成立を確かめてから、本番の効果を見込みます。

- ・ 始める前に、今の値を測る
- ・ 推定は「推定」と書く
- ・ 同じ物差しで測り直す

効果の出し方



計算例（数字は仮のもので、実績ではありません）

前提：月1,000件・1件10分・1時間あたりの人件費3,000円（仮の値）

1,000件 × 10分 = 月約167時間 × 3,000円 = 月約50万円 × 12か月 = 年約600万円

本番の効果は、PoCで測った精度と処理時間に置きかえて出し直します。増員せずに扱える件数の上限も、あわせて測ります。

AI開発 セキュリティ顧問

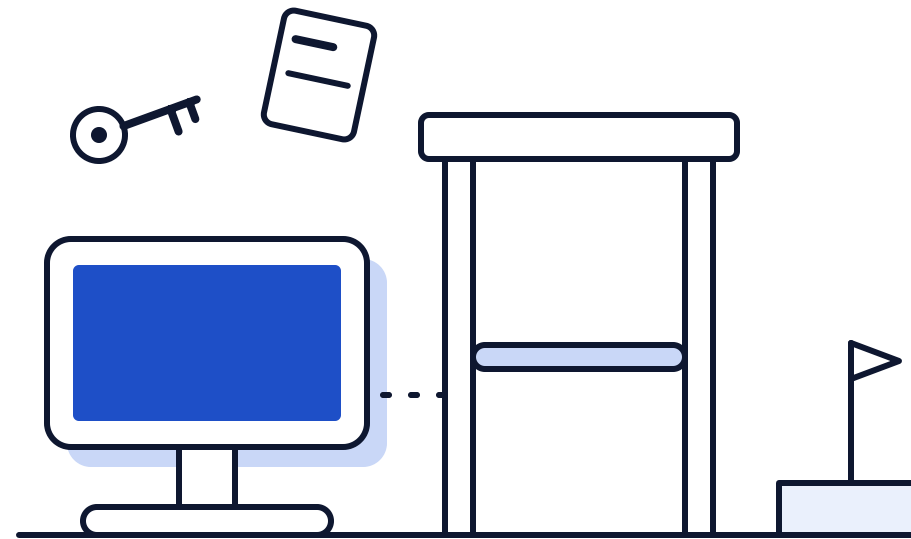
AI開発を止めるためではなく、
安心して本番運用するための
セキュリティ。

レビューする6つの領域

AIアーキテクチャ／データセキュリティ／
権限設計／開発セキュリティ／AIガバナンス
／運用・監視

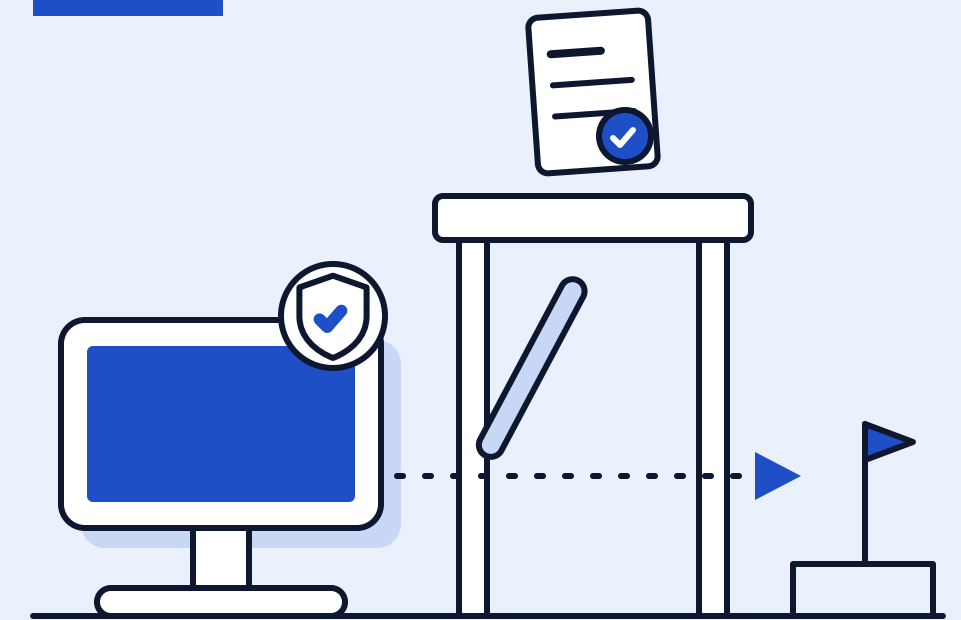
社内で作ったAIを、 6つの領域で第三者としてレビューする

現状



- AIを内製しているが、セキュリティの専門家が社内にはいない
- 本番で使ってよいかを、決められる人がいない
- 誰がどのAIを使っているか、把握できていない

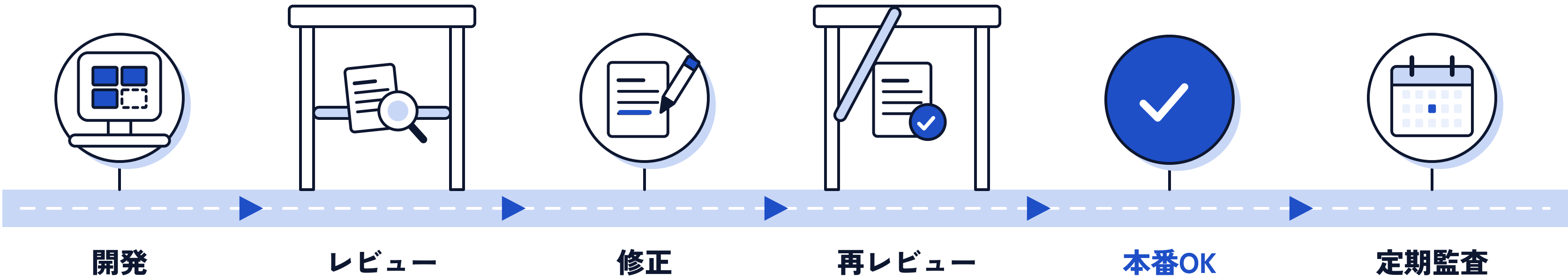
理想



- 作った人ではない第三者が確認し、本番可否の判定が出る
- 利用中のAI・アカウント・端末・契約が、1つの一覧になる
- 開発を止めずに、安心して本番運用できる

レビューと修正を重ねて、本番に出してよい状態にする

- 月額顧問、または単発のレビュー
- 対象は Claude Code・社内RAG・MCP・n8n／Dify など
- 作る側と審査する側は兼ねません



月額の顧問（税込）

Light

11万円／月

Standard

22万円／月

Growth

33万円／月

Enterprise

55万円～／月

単発のAI本番化レビュー

1システム **33**万円～（税込）

事故・手戻り・本番化の遅れを減らす効果を、数で追います

主に見る軸



コスト



時間



売上・粗利



品質



処理能力



リスク

金額にしにくい効果は、「何を数えるか」を先に決めて、毎月の変化を見ます。

- ・ 始める前に、今の値を測る
- ・ 推定は「推定」と書く
- ・ 同じ物差しで測り直す

数えるもの



本番可否の判定が出たAIの数



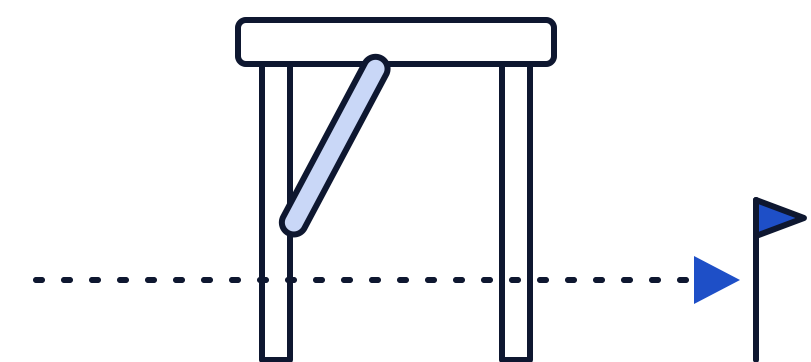
レビューの指摘の数と、直した数



把握できていないアカウントの数



平文で置かれた鍵の数



本番化の遅れと手戻りを減らす

計算例（数字は仮のもので、実績ではありません）

前提：本番化が3か月止まっている社内AIが1つ・そのAIで見込む効果が月30万円（仮の値）

止まっている3か月 × 月30万円 = 90万円分の効果が、まだ出ていない計算

判定が出て本番に進めば、この遅れが止まります。指摘の数・把握外のアカウントの数は、月ごとの増減で確かめます。

生成AI研修

社員が、自分の業務でAIを使える状態に。

成果の見方

AI利用率／利用頻度／AI活用業務数／
削減時間／現場で生まれた活用事例

自分の業務を題材に演習し、 定着を指標で確かめる

現状



- 一部の社員しか使っていない
- 研修をしても、現場で使われなかった
- 一般論のデモが、自社の業務につながらない

理想



- 自社の実業務を持ち込み、その場で解く
- 翌日から、自分の業務で使い始める
- 利用状況と削減時間で、効果が見える

半日の基礎から、3ヶ月の定着プログラムまで3つ

料金は税込

- パック単位のご契約・各パック最大20名
- 事前ヒアリングをもとに内容を設計
- 研修後は AI顧問などへ接続できます

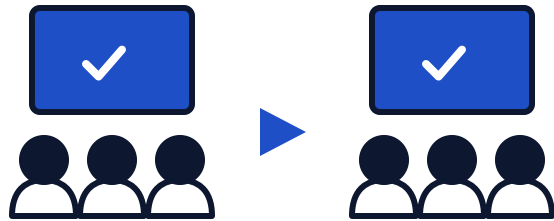


基礎研修パック

半日（3時間）×1回

33万円

- 自社業務を題材にした研修
- 教材・持ち帰り用プロンプト
- 受講後アンケートと効果レポート

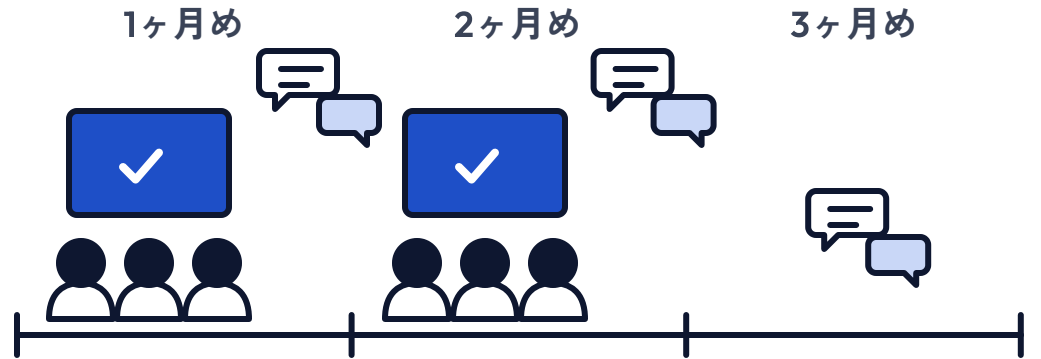


実践研修パック

研修2回

55万円

- 基礎＋実務ハンズオン
- 部署別のカスタム題材
- 社内で再利用できるプロンプト集
- 成果指標にもとづく振り返り



研修×定着プログラム

3ヶ月（研修2回＋月次フォロー）

110万円～

- 期間中の質問窓口
- 社内AI推進担当の立ち上げ支援
- 利用率・活用業務数の定着レポート

利用率・活用している業務の数・削減時間で、研修の効果을測ります

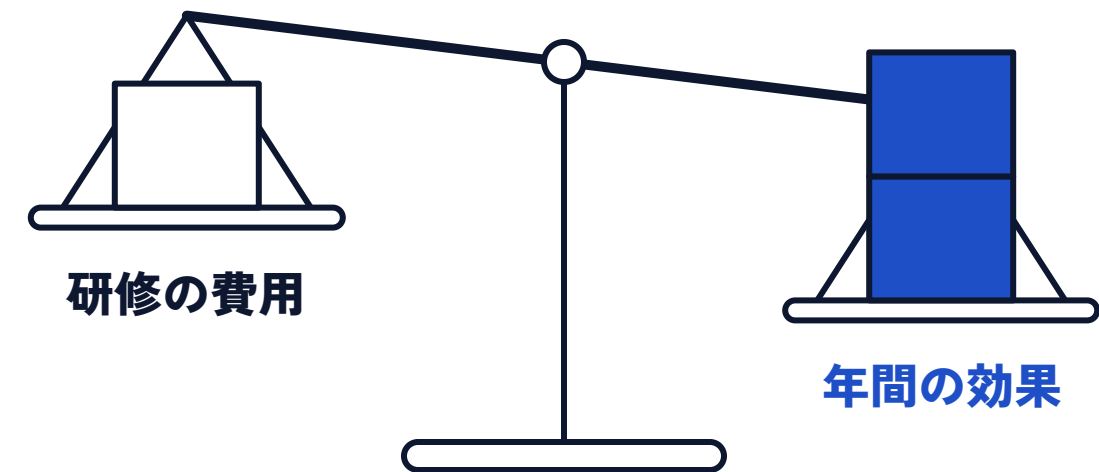
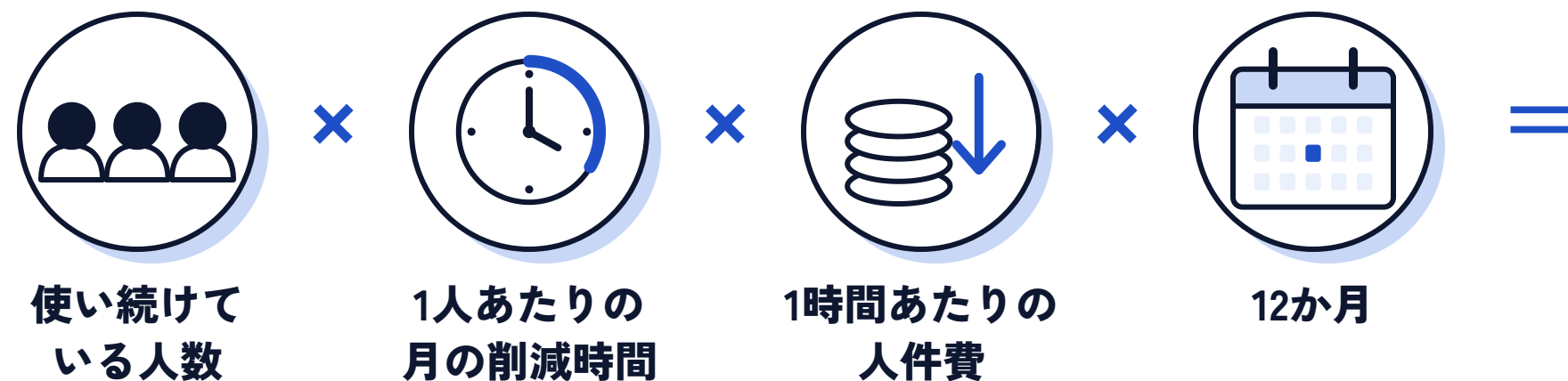
主に見る軸



成果の見方は、AI利用率・利用頻度・AI活用業務数・削減時間・現場で生まれた活用事例の5つです。

- ・ 始める前に、今の値を測る
- ・ 推定は「推定」と書く
- ・ 同じ物差しで測り直す

効果の出し方



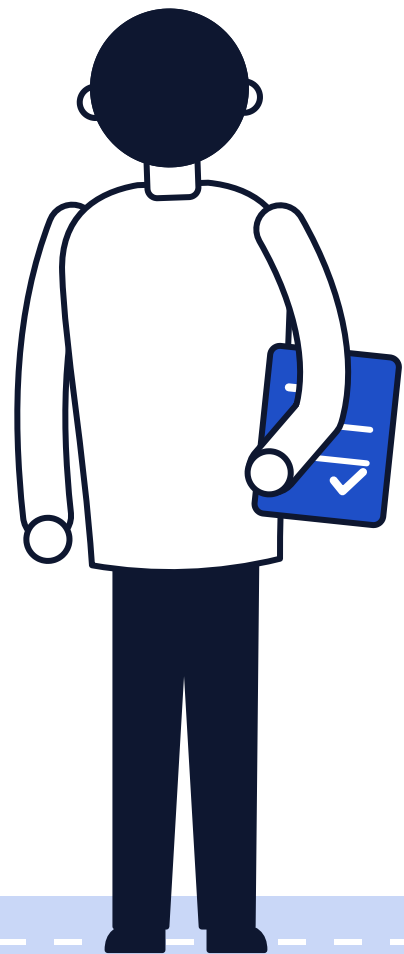
計算例（数字は仮のもので、実績ではありません）

前提：受講20名のうち15名が使い続ける（利用率75%）・1人あたり月4時間の削減・1時間あたりの人件費3,000円（仮の値）

15名 × 4時間 × 3,000円 × 12か月 = 年216万円

研修×定着プログラム（110万円～）の約2倍を見込む計算です。AI利用率・利用頻度・AI活用業務数も、あわせて確かめます。

いまの状況から、最初の1本を選べます



AIを何から始めればいいのか分からない

▶ AI顧問 Light

毎月1つずつ、業務をAI化していきたい

▶ AI顧問 Standard

もっと速く、複数の業務をAI化したい

▶ AI顧問 Growth

複数の部署をまとめて変えたい

▶ FDE型AI伴走支援

全社のAI戦略と投資順序を決めたい

▶ AIコンサルティング

Claude Codeを自社仕様で使えるようにしたい

▶ Claude Code構築支援

特定の業務を、大きく自動化したい

▶ AIエージェント開発

社内で作ったAIを、安全に本番で使いたい

▶ AI開発セキュリティ顧問

社員のAIスキルを底上げしたい

▶ 生成AI研修

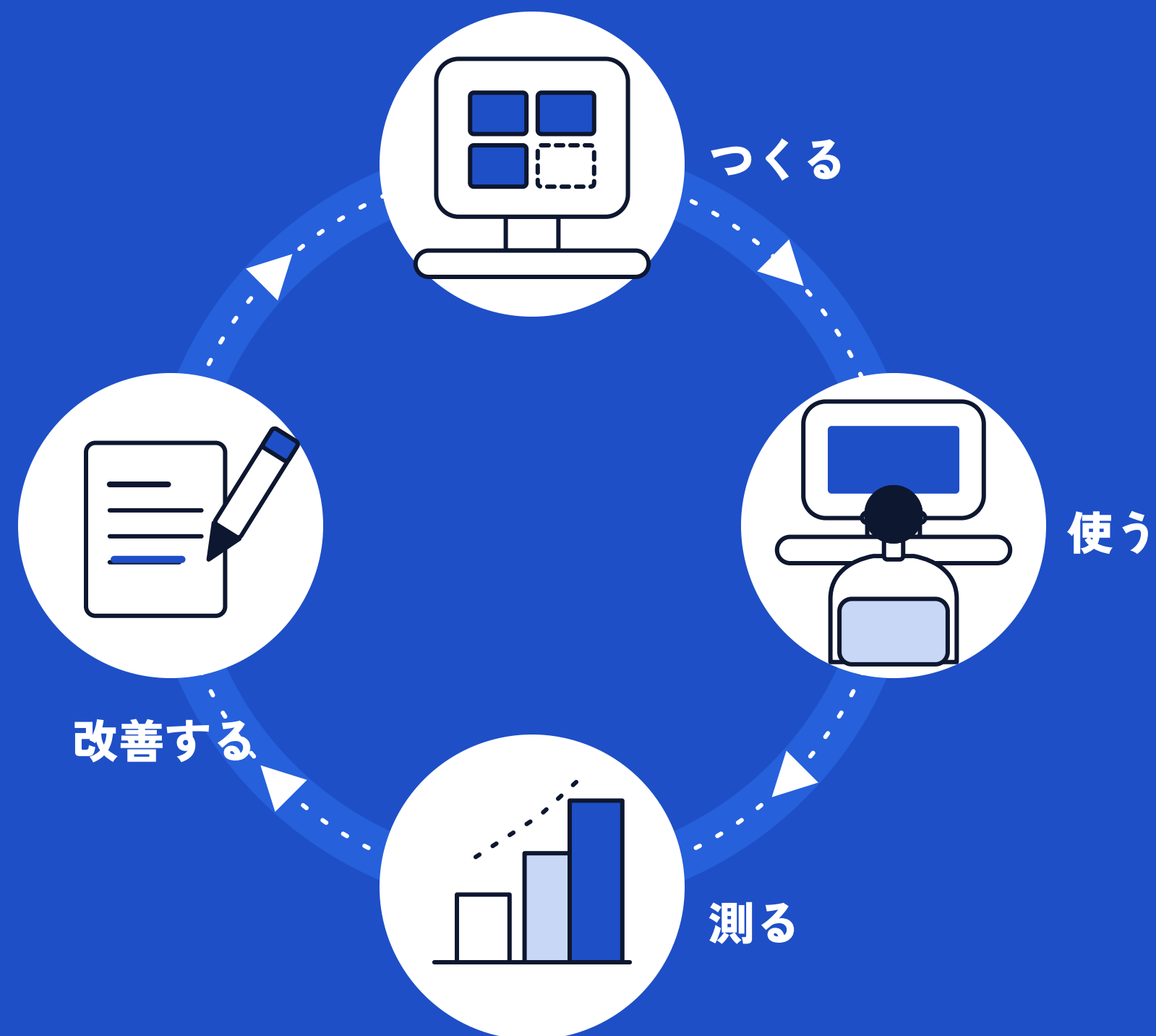
迷うときは、無料相談（最大45分）で現状を伺って、合うものをお伝えします。

03

HOW WE WORK

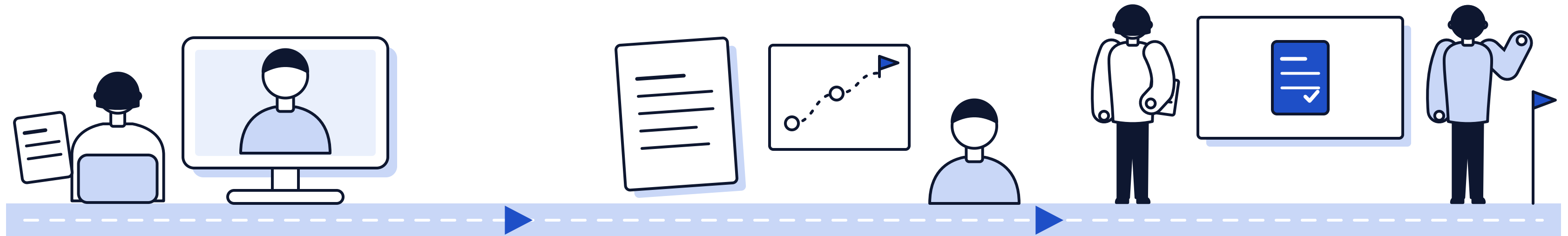
進め方・安全

つくる。使う。測る。改善する。



無料相談から開始まで、3つの段で進みます

全国対応。福岡市博多区の近隣は対面も可能です。



STEP 1

無料相談 最大45分

御社がすること

いまの業務の状況と、AIで解決したい業務をお話してください。

BoostXが出すもの

AI化できそうな業務と優先順位を、その場でお伝えします。

STEP 2

ご提案・お見積もり 1週間前後

御社がすること

内容をご確認のうえ、進めるかどうかをお決めください。

BoostXが出すもの

合うサービスと進め方、費用の目安をまとめてご提示します。契約の催促はしません。

STEP 3

開始 最短翌週

御社がすること

対象の業務を実際に行っている方と、意思決定の窓口をお決めください。

BoostXが出すもの

キックオフで最初の対象業務を決め、進め始めます。

顧問と伴走は毎月くり返し、コンサルティングは4つの段で進みます

どの流れでも、始める前に今の値を測り、導入後に同じ物差しで測り直します。進み具合・課題・決定・変更は、定期的にご報告します。

ご契約・キックオフのあと

AI顧問

月額

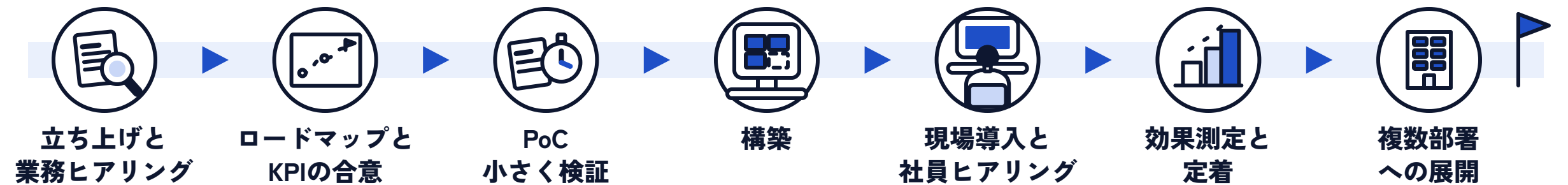
毎月1テーマをくり返す



FDE型AI伴走支援

月額

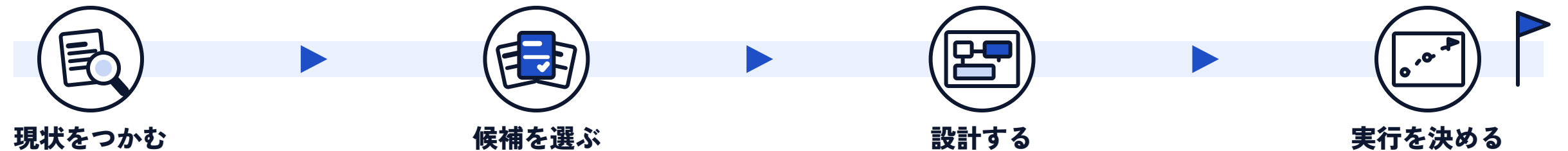
月2日の訪問を含む



AIコンサルティング

プロジェクト単位

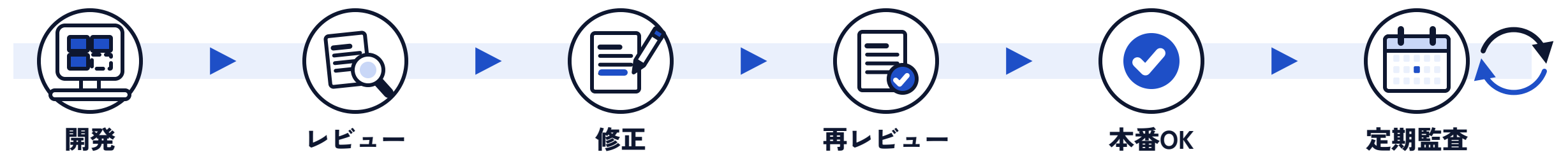
12ヶ月ロードマップと予算まで



AI開発セキュリティ顧問

月額・または単発

レビューと修正を重ねる



開発と構築は、範囲を決めて、確かめてから次の段へ進みます

どの流れでも、始める前に今の値を測り、導入後に同じ物差しで測り直します。進み具合・課題・決定・変更は、定期的にご報告します。

着手から本番・定着まで

AIエージェント開発

プロジェクト単位

PoCで成立を確かめてから



Claude Code構築支援

プロジェクト単位

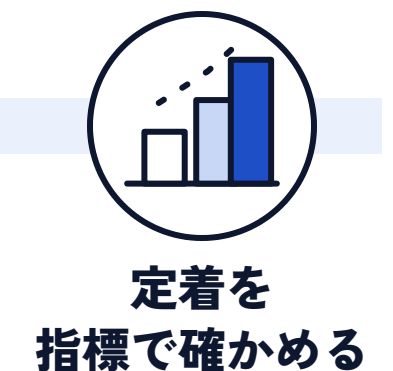
構築後は月額顧問（任意）



生成AI研修

パック単位

各パック最大20名



AIに渡す情報と、人が確認する範囲を、 着手前に決めます



着手前

渡してよい情報の範囲を
取り決める



設計

人が必ず確認する範囲を
決める



運用

処理の記録を残し、
後から確認できる



契約とルール

秘密保持契約と、
社内AI利用ルールの整備

作る側



審査する側



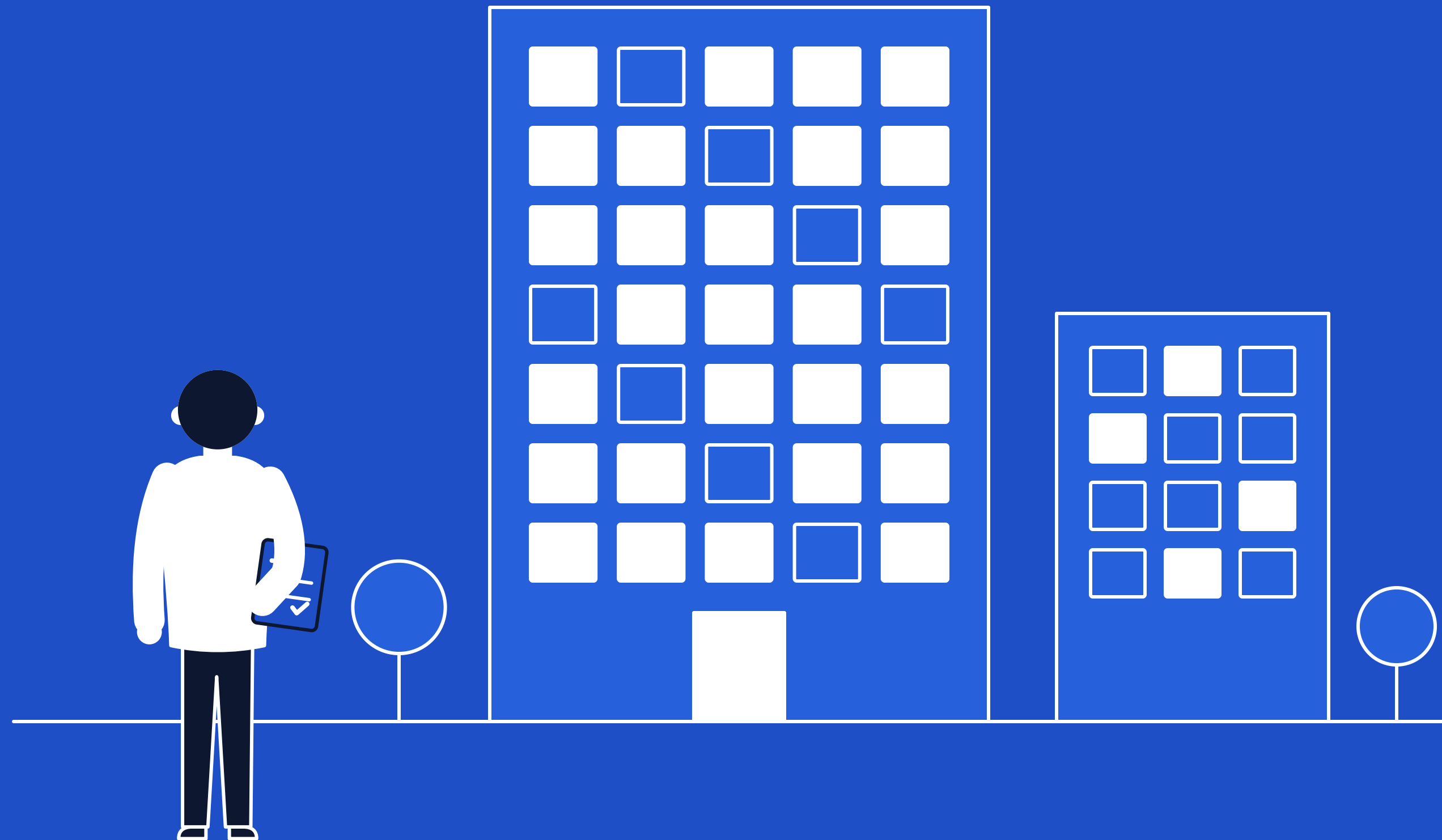
本番に出してよいかの審査は、作る担当と分けて行います。
作る側と、審査する側は兼ねません。

04

COMPANY

会社情報

私たち自身が、
毎日AIで動いています。



「やりたい」を、 「できる」に変えていく。

私自身、生成AIに出会って、働き方が大きく変わりました。

この手応えを、自分の中だけにとどめておきたくない。同じように悩む経営者の方と、同じ景色を見たい。その一心で、私はBoostXを立ち上げました。

専門用語は使いません。できること・できないことも、正直にお伝えします。

株式会社BoostX 代表取締役

吉元 大輝



会社概要

社名	株式会社BoostX（BoostX Inc.）
設立	2025年6月17日
代表者	代表取締役 吉元 大輝
所在地	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前二丁目17-1 博多プレステージ本館1F・2F
対応エリア	全国。訪問でのご相談も可能
営業時間	平日 10:00-18:00
Web	boostx-inc.com
法人番号	7290001110457

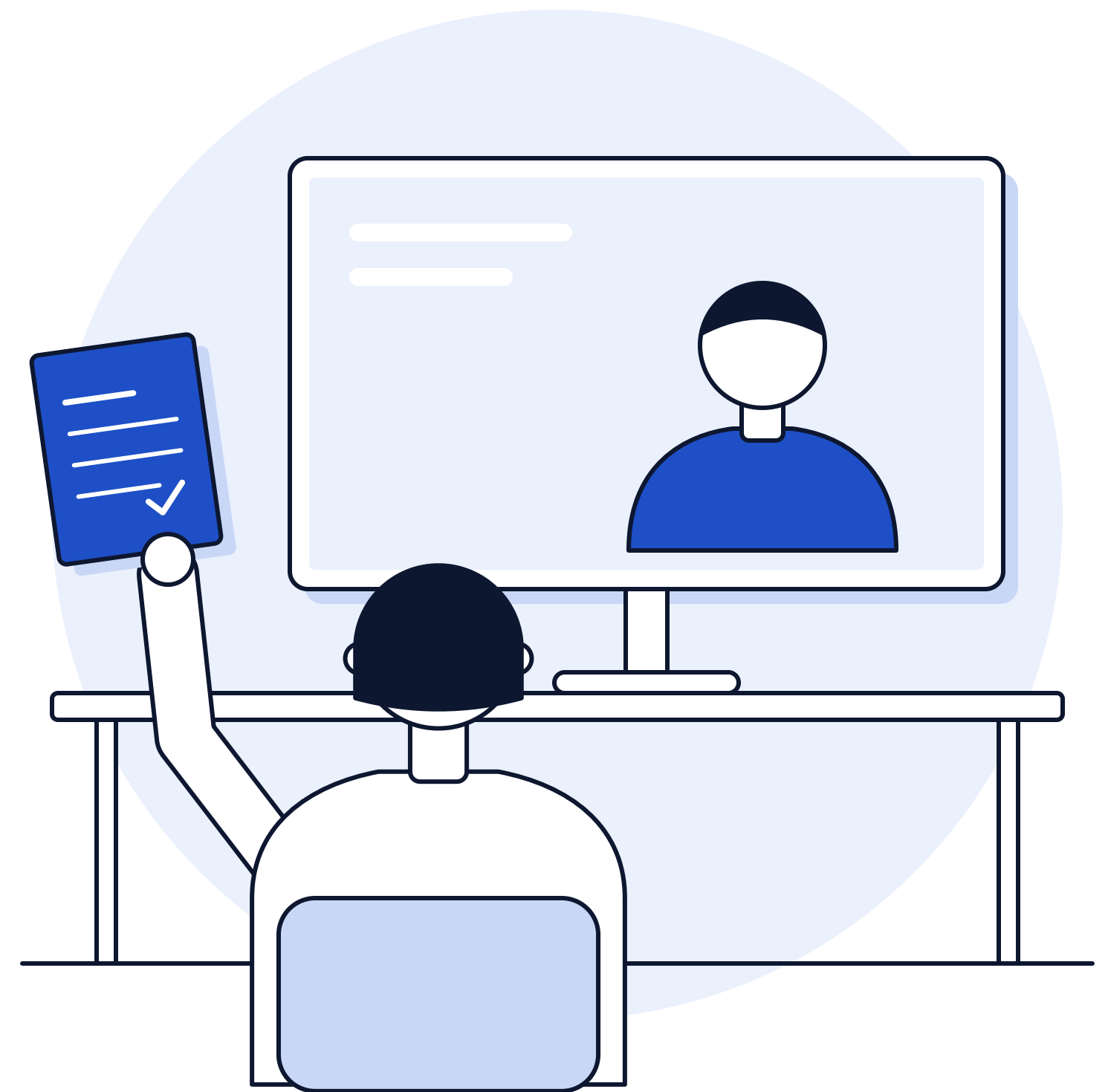


まずは、**業務を1つ。** 無料相談で お聞かせください。

最大45分（30分か45分）・全国対応。
福岡市博多区の近隣は対面も可能です。



無料相談のご予約は
こちらから





料金と支援の形の一覧

サービス	支援の形	料金（税込）
AI顧問	月額制・オンラインで完結	月額 11万／22万／33万円 Light／Standard／Growth
FDE型AI伴走支援	月額制・月2日の訪問を含む	基本パッケージ 月額 55万円 部署数・訪問日数の追加はお見積もり
AIコンサルティング	プロジェクト単位・3パッケージ	個別お見積もり
Claude Code構築支援	プロジェクト単位。構築後は月額の顧問（任意）	構築は個別お見積もり Claude Code顧問 月額 11万／22万／33万円
AIエージェント開発	プロジェクト単位・PoC→本番→拡張	個別お見積もり
AI開発セキュリティ顧問	月額制、または単発のレビュー	月額 11万／22万／33万／55万円～ 単発のAI本番化レビュー 1システム33万円～
生成AI研修	パック単位・各パック最大20名	33万／55万／110万円～ 基礎／実践／研修×定着プログラム（3ヶ月）

ご契約の前に、よくいただくご質問



Q 月額 of AI 顧問で、開発はどこまで頼めますか

毎月の小規模な AI 構築までです。基幹システム連携・大規模 RAG・本格的な AI エージェントなどは、原則として別のお見積もりになります。

Q 契約の単位は

AI 顧問と FDE 型 AI 伴走支援は月額制。AI コンサルティング・Claude Code 構築支援・AI エージェント開発・生成 AI 研修はプロジェクト単位です。

Q 費用のほかにかかるものは

ChatGPT や Claude など AI ツールの利用料は、御社で直接ご契約・お支払いいただきます。

Q 効果はどのように測りますか

着手前に「何ををもって効果とするか」を決めてから始めます。改善の幅をお約束するものではありません。



日本の会社に、AIを実装する。

株式会社BoostX boostx-inc.com

福岡市博多区博多駅前2-17-1 博多プレステージ本館1F・2F

平日 10:00-18:00 | 全国対応

無料相談のご予約

最大45分

